# 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

一教室年報:2015-

Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery Annual Report 2015



明治維新胎動之地碑(萩市)



Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery Annual Report 2015

## **Contents**



Page 1	巻頭言	SHE IS	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事		医局長	鈴木伸明
Page 5	臨床報告	(入院)	病棟医長	武田 茂
Page 6	臨床報告	(外来)	外来医長	上野富雄
Page 7	臨床報告	(各グルー	-プ)	
Page 8			上部消化管	<b>管グループ</b>
Page 11			下部消化管	管グループ
Page 14			肝胆腫	<b> 萃グループ</b>
Page 17			乳腺・内分泌	必グループ
Page 20	業績報告			
Page 21				英文論文
Page 24				和文論文
Page 25			国際学会努	発表・司会
Page 26			国内学会到	発表・司会
Page 41			研究費	責取得状況
Page 42			¥	<b>業績その他</b>
THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE	THE FALL	STEPS A LEE		THE LOCAL PROPERTY OF

Page 43 研究者発表会議 記録 Page 44 学位取得報告

Page 48新入局員あいさつPage 502015年 年間行事

Page 68 編集後記



# 卷頭言

山口大学大学院医学系研究科 消化器·腫瘍外科学 教授

## 永野 浩昭

Hiroaki Nagano

2015年3月1日付で、主任教授として大阪大学より山口大学に着任し、約1年が経過しました。この間、同門の先生方には、あたたかいご理解と大変なご協力をいただきました。おかげさまで、なんとか大過なく過ごすことができたと感謝いたしております。

また、教室員にとっては、今までと異なる文化が流入してきたことにより、多くの不安といろいろなとまどいを感じたこの1年間であったと思いますが、少なくとも誰1人として医局を去ることなく、それどころか、これからをしっかりと見すえ、"消化器・腫瘍外科学講座"の未来について前向きに考えてくれました。こちらに赴任した日が、生涯3日目の山口というような、全く縁もゆかりもない土地での、手探りで始めた教室運営ではありましたが、今は、このかけがえのない仲間とともに山口大学の外科学の発展のために邁進する覚悟ができたとともに、"彼らとであれば間違いなくやっていける!"、そんな根拠のない「確信」まで芽生えてきています。

さて、本年より教室年報を作成することといたしました。自分たちの1年間をかたちにして見直すことで、来年、5年後、10年後の姿を想像する端緒になると思っています。また、「目的への意識」と「変化を求める心」をつねに持ち続けることの再確認にもなると考えています。

いま、山口の外科に求められるモノは、たとえその歩みは遅くとも、前に進み続けることだと信じています。その意味では、この「教室年報2015」は、"山口大学消化器・腫瘍外科学"の明日への第一歩の証(あかし)なのかもしれません。



志都岐山神社のミドリヨシノ(萩市。)萩市でしか見られない希少種で、県の天然記念物に指定されています。

# 医局員一同



	兼		来		藤		西		徳		木		松		中	
	清		嶋		本		山		久		村		隈		島	
	信		大		拓		光		晃		祐		120		正	
	介		樹		也		郎		弘		太		聰		夫	
		/		/						/			\ \		\	
新		徳		北		松		中		桑		田		井		千
新藤芳太郎		光		原		井		尾		原		中		上		々 松
太		幸		正		洋		光		太		宏		由		日
郎		生		博		人		宏		_		典		佳		千々松日香里
			1													\ <b>=</b> /
				<b>Y</b>						$\vee$						
飯		筒		恒			爲		鈴		坂		/ <del>da</del>		24	
田		井		富			佐		木		本		徳		前	
通		理		亮			卓		伸		和		久 善		<b>⊞</b>	
久		仁		<i>—</i>			夫		明		彦		弘		訓子	
		-					<b>X</b>		-773	/			5/4		7	
					/					/						
上			山			硲			永		吉			飯		武
野			本						野		野			塚		田
富						彰			浩		茂			徳		
<b>広</b> 任			滋			_			昭		文			男		茂
				/				_ \				/	1			

# 日常の風景

## ナースステーション風景





## 病棟回診風景





## 外来風景





## 教室人事



山口大学大学院医学系研究科 消化器·腫瘍外科学 医局長 **鈴木 伸明** 

Nobuaki Suzuki

2015年の10月から医局長を仰せつかりました鈴木です。

平成27年1月から平成27年12月までの人事異動については以下の通りです。

教官では、平成27年7月1日付けで、為佐卓夫(講師)が米国UTLB (University of Texas Medical Branch) に留学いたしました。 山口大学での文部科学教官としての経験をいかして、肝胆膵外科医療のこれからを支えるべく研究を重ね、さらなる発展を祈念 致します。これにともない、平成27年4月1日付けで、筒井理仁が米国より医員として、帰学いたしました。筒井理仁は、上部消化 管班としての経験と米国での研究経験をいかして、新たに乳腺・内分泌領域で山口大学を引っ張っていってくれることを期待し ております。また、藤本拓也の大学院入学に伴い、藤原康弘が山口大学病院集中治療部 助教として市立八幡浜総合病院か ら、桑原太一が宇部興産中央病院から医員として帰学しました。二人とも今まで培った経験を生かして、高い視点と広い視野を もった外科医としてこれからの成長を望みます。また、平成27年7月1日付で、医員の中尾光宏が、小野田赤十字病院へ出向し ました。中尾光宏は卓越した手術手技を生かして下部消化管領域のみならず、消化器外科ならびに乳腺・内分泌外科全般に おいて益々の成長を期待します。新入局については、平成27年4月1日付けで6名の入局者を迎えることとなりました。初期研修 終了後の、太田啓介(1年目:宇部興産中央病院→2年目:山口大学附属病院)が関門医療センターへ、兼定 航(1年目:徳山 中央病院→2年目:山口大学附属病院)が岩国医療センター医師会病院へ、古谷 圭(1年目:宇部興産中央病院→2年目:山 ロ大学附属病院)が市立八幡浜総合病院へそれぞれ出向し、千々松 日香里(宇部興産中央病院2年間)と徳久晃弘(徳山中 央病院2年間)が山口大学附属病院に医員として配属となりました。また、木村祐太は初期研修・後期研修を都立墨東病院外科 で行った後に入局し、同じく山口大学附属病院医員として配属となりました。木村祐太は5年間の都市部での経験を山口県に しっかりフィードバックしてくれるモノと期待しています。この学年は5+1名の入局となり医局員一同大変喜んでいます。また、研究 面では3名の大学院入学者を迎え、藤本拓也が山口大学病院集中治療部から、西山光郎と中島正夫が学内からそれぞれ入学 致しました。いずれも永野浩昭教授着任後、初の新入局員と大学院生となりますので、自覚を持って、山口大学大学院消化器・ 腫瘍外科学教室の一員として、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。

### 関連病院人事異動(平成27年1月1日から12月31日)

	氏名	異動元	異動先
3月1日	筒井理仁	Duke university Surgery	山口大学消化器•腫瘍外科学
4月1日	長島 淳	済生会豊浦病院	下関医療センター
	前田和成	山口大学消化器·腫瘍外科学	済生会豊浦病院
	藤原康弘	市立八幡浜総合病院	山口大学病院集中治療部
	山田健介	岩国医療センター医師会病院	宇部興産中央病院
	山本常則	関門医療センター	小倉記念病院
	木村祐太	都立墨東病院 外科	山口大学消化器·腫瘍外科学
	太田啓介	山口大学消化器·腫瘍外科学	関門医療センター
	兼定 航	山口大学消化器·腫瘍外科学	岩国医療センター医師会病院
	古谷 圭	山口大学消化器·腫瘍外科学	市立八幡浜総合病院
	千々松日香里	宇部興産中央病院	山口大学消化器•腫瘍外科学
	徳久晃弘	徳山中央病院	山口大学消化器•腫瘍外科学
7月1日	為佐卓夫	山口大学消化器·腫瘍外科学	University of Texas Medical Branch
	中尾光宏	山口大学消化器·腫瘍外科学	小野田赤十字病院

## 臨床報告(入院)



山口大学大学院医学系研究科消化器•腫瘍外科学 病棟医長

武田 茂

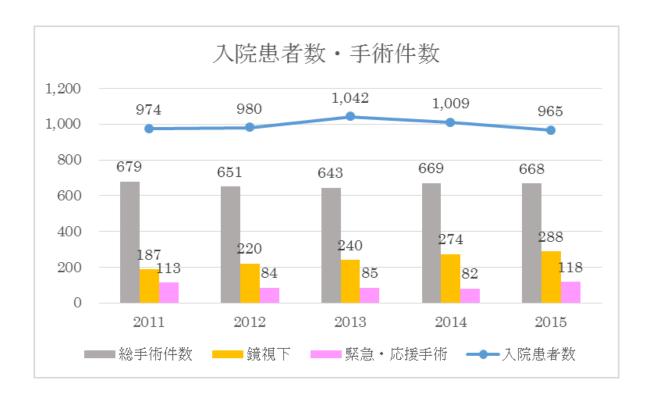
Shigeru Takeda

2015年の10月から上野富雄先生から引き継ぎ、病棟医長を仰せつかりました武田です。最近の入院診療の近況につきましてご紹介いたします。

当科の年間手術件数は2010年以降、600件を越していますが、ここ数年間はやや横ばい傾向です。各診療グループともに鏡視下手術の症例が増加しており、2015年は288件の鏡視下手術を行っております。緊急・応援手術もばらつきはありますが。2015年は118件ありましたまた。全体の傾向として術前合併のあるリスク症例や高難度症例などの長時間手術も増加しています。入院患者数は年間1000名前後を推移しています。病床稼働率90%、平均在院日数17.8日で稼働額も含めて附属病院内でも上位を保っています。

2016年から本格的にチーム診療を導入して、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4つのグループで診療体制を とっています。診療科全体での回診やカンファレンスに加えて各々のチーム毎のカンファレンス・回診も行うようになりました。より 専門的で難易度の高い症例にも対応できるようにそれぞれが協力しながら日々の診療を行っています。

現在、附属病院の再発整備事業による新病棟建設工事が開始されています。平成30年度に新病棟が完成見込みで、手術室 や集中治療室なども新しくなる予定です。待機患者を減らして手術件数を増やすように努力したいと思いますので、益々のご指 導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科 消化器·腫瘍外科学 外来医長 上野 富雄 Tomio Ueno

2015年の10月から山本 滋先生から外来医長を引き継ぎました上野です。病棟医長の5年半は、大変お世話になりました。以下 に、2011年度以降の、当科の外来診療の近況につきましてご紹介いたします。2015年度は1月までの集計です。

年度別の月平均の来院患者数は、確実に増加しています。新患のほとんどは紹介患者さんであり、学内部・外部からのご紹介なのかは、現在の集計表からは読み取ることはできませんが、多くの患者さんを当科にご紹介いただいていることを、この場をお借りし、御礼を申し上げます。月平均の診療単価および年間平均稼働額もここ数年は増加傾向にあり、恐らく外来化学療法の増加とも相まって、再診患者数も増加していると思われます。

術後外来化学療法の導入などにより、当科で継続的に加療することが多くなり、紹介元の先生に患者さんをお返しできないこともありますが、入院のみならず、外来でもしっかりと患者さんを再診してくれている担当医の熱意でありますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。また後方支援的に患者さんを診ていただいている施設もあり、御礼申します。

2016年度からは本格的にチーム診療を導入して、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4つのグループで診療・教育体制をとることになりました。病棟でも診療科全体での回診やカンファレンスに加え、外来の新患も含め、各々のチーム毎のカンファレンスも行うようになりました。外来でも、複数の目で診断し、より専門性を発揮できるように、チームにより診療を行う体制に変更しております。

今後も皆さまからの忌憚なきご意見を賜り、外来運営を行ってまいります。益々のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。







## 臨床報告(各グループ)

上部消化管グループ 下部消化管グループ 肝胆膵グループ 乳腺・内分泌グループ



春、桜満開の山口大学病院の風景(宇部市)

# 上部消化管グループ

スタッフ 吉野茂文、武田 茂、飯田通久、 兼清信介、北原正博、西山光郎



上部消化管グループは吉野、武田、飯田、兼清、北原、西山のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2015年の新規患者(非切除を含む)は140例で、大半が食道癌、胃癌の症例です。食道癌は90%近くが鏡視下手術で、反回神経麻痺予防のため神経刺激装置(NIM)の導入や、NST、周術期リハビリテーションなどチーム医療の積極的な介入で、さらなる術後合併症の予防に努めています。次年度は術前治療を積極的に行い、サルベージ手術も適応を拡大して症例数を伸ばし、JCOGグループへの参加も目指したいと思います。胃癌については腹腔鏡手術を進行癌にも適応を広げ、80%以上の症例で腹腔鏡手術を行いましたが、合併症も増えることなく良好な成績でした。次年度は鏡視下腔内吻合、LECS(腹腔鏡内視鏡合同手術)、肥満手術などの導入準備やロボット手術の症例追加や適応拡大なども行っていきたいと考えています。また、近年増加している食道胃接合部癌についても治療戦略を統一する予定です。

# 平成27年診療研究情報報告

### 入院患者数

食道疾患	50例
	41例
食道粘膜下腫瘍	2例
食道裂孔ヘルニア	2例
特発性食道破裂	2例
その他	3例

胃疾患	90例
胃癌	77例
残胃癌	4例
GIST	7例
その他	2例

## 手術症例数

食道疾患名	42例	術式	42例
食道癌	26例	食道癌根治術	26例
		腹臥位胸腔鏡食道亜全摘術	21例
		右開胸食道亜全摘術	3例
		縦隔鏡下食道切除術	2例
下咽頭癌	7例	遊離空腸再建(応援手術)	7例
食道粘膜下腫瘍	2例	食道粘膜下腫瘍手術	2例
食道裂孔ヘルニア	2例	食道裂孔ヘルニア修復術 (腹腔鏡)	2例(1例)
特発性食道破裂	2例	左開胸開腹食道修復術	2例
その他	3例	その他手術	3例

胃疾患名	76例	術式	76例
胃癌	63例	腹腔鏡下胃全摘術	8例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	37例
		ロボット幽門側胃切除術	2例
		胃全摘術	5例
		幽門側胃切除術	9例
		腹腔鏡下バイパス術	2例
残胃癌	4例	胃全摘術	3例
		胃部分切除術	1例
GIST	7例	腹腔鏡下胃部分切除術	5例
		胃部分切除術	1例
		胃全摘術	1例
その他	2例	その他	2例

## トピックス

- 3月 第87回日本胃癌学会総会に参加しました(吉野、飯田、北原、来嶋)。 岡山大学臨床解剖実習セミナーに参加しました(兼清)。
- 6月 第74回山口県臨床外科学会ランチョンセミナーで「胃切除術の温故知新」を吉野准教授が講演しました。
- 7月 第69回日本食道学会学術集会に参加しました(吉野、武田、兼清、北原、西山)。 第70回日本消化器外科学会総会ランチョンセミナーで「術後せん妄対策」を吉野准教授が講演しました。 第22回外科フォーラム特別講演で「ストレスのない手術環境」を吉野准教授が講演しました。
- 9月 第7回中四国食道外科 平成の会に参加しました(武田、兼清、北原、西山)。 第40回欧州臨床腫瘍学会(ESMO2015)に参加しました(吉野)
- 10月 第23回欧州消化器病週間(UEGW2015)に参加しました(飯田)。 第5回宇部市民公開講座で「よくわかる胃がんの予防、検査から治療まで」について吉野准教授が講演しました。
- 11月 第 138回山口県医師会生涯研修セミナーで「消化器がんに対するがん薬物療法」について吉野准教授が講演しました。
  - JCOG食道がんグループ班会議にオブザーバー出席しました(武田、兼清)。

## 平成27年研究報告(平成27年12月31日現在)

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000016954	食道癌患者を対象とした術後補助療法としての S-588410(ペプチドワクチン、塩野義製薬) による第III相多施設共同プラセボ対照二重盲 検無作為化比較試験	食道癌	塩野義製薬	実施中
UMIN000008590	進行・再発胃癌に対するTS-1隔日投与法+レ ンチナン併用療法を検証する第Ⅱ相試験	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000016196	切除不能・進行再発胃癌の2次化学療法として の低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性の検討 〜臨床第II相試験〜	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000010337	StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験JACCRO GC-07(START-2)	胃癌	JACRO	実施中
UMIN000010877	手術支援ロボットを用いた早期胃癌に対する幽 門側胃切除術の安全性と有用性の検討	早期胃癌	山口大学	実施中





ロボット支援幽門側胃切除術の風景





腹臥位胸腔鏡下 $\mathfrak{g}$  食道切除術 $\mathfrak{g}$ 

# 下部消化管グループ

スタッフ 硲 彰一、鈴木伸明 井上由佳、来嶋大樹、田中宏典



2015年、下部消化管グループは硲、鈴木、井上、来嶋、田中のメンバーを中心に診療を行いました。症例は年々増加傾向ですが、なかでも結腸・直腸癌症例に対する手術は98例と大台100例を目前にし、そのうち腹腔鏡手術は87例と実に89%の症例に施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しており、特に直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術は13例に行いました。臨床研究にも積極的に参加し、JSWOG-C3では症例登録数で1位を記録しました。次年度もJACCRO等の臨床研究に積極的に参加していく予定です。チームカンファレンスを週1回、消化器内科との合同カンファレンス(Cancer Board)を週1回行っており、手術治療を中心に、抗がん剤治療による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy 等も積極的に目指していきます。

# 平成27年診療研究情報報告

## 入院患者数(化学療法含む)

結腸/直腸癌	161
回盲部癌	14
上行結腸癌	16
横行結腸癌	13
下行結腸癌	15
S状結腸癌	34
直腸癌	62
その他	7

良性疾患	106
イレウス	18
直腸脱	15
炎症性腸疾患 (クローン病5例、潰瘍性大腸炎3例)	8
急性虫垂炎、憩室炎等	19
肛門疾患	7
その他	39

### 手術症例数

	腹腔鏡	開腹	計
結腸癌	48	2	50
S状結腸切除術	19	0	19
回盲部切除術	11	0	11
横行結腸切除術	7	1	8
右半結腸切除術	6	0	6
左半結腸切除術	5	1	6
良性疾患	46	6	52
小腸部分切除術	19	0	19
痔核・痔瘻根治術	0	6	6
直腸固定術	13	0	13
その他	14	0	14

	腹腔鏡	開腹	計
直腸癌	39	9	48
低位前方切除術	22	0	22
高位前方切除術	10	0	10
Hartmann手術	2	0	2
直腸切断術	3	1	4
ISR	2	0	2
骨盤内臓全摘術	0	1	1
その他	0	7	7

## トピックス

- 5月 癌免疫外科研究会で 症例賞を受賞しました (井上)
- 6月 ASCO (米国臨床腫瘍学会) に参加しました(硲、鈴木)
- 9月 JSWOG-C3症例登録数で1位を記録しました
- 11月 第 138回山口県医師会生涯研修セミナーで「消化器がんに対するがん薬物療法 2. 下部消化管(大腸・直腸)」について講演しました(硲)。

## 平成27年研究報告(平成27年12月31日現在)

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000010046	大腸癌におけるPSK有効症例指標の探索に関する 無作為化比較試験	Stage II ・II 大 腸癌	山口大学消化 器腫瘍外科	実施中
UMIN000010209	KRAS野生型の大腸癌肝限局転移に対する mFOLFOX6+ベバシズマブ療法とmFOLFOX6+ セツキシマブ療法のランダム化第II相臨床試験 (ATOM Trial)	大腸癌肝転移	九州大学	実施中
UMIN000010429	KRAS野生型の大腸癌肝限局転移に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ療法とmFOLFOX+セッキシマブ療法のランダム化比較第II相試験における治療感受性予測の探索的研究(ATOM trial 付随研究)	大腸癌肝転移	九州大学	実施中
	大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体 (TCR)網羅的解析による化学療法剤の効果予測 と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究	大腸癌	山口大学消化 器腫瘍外科	実施中
UMIN000016782	RAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験における治療感受性、予後予測因子の探索的研究(PARADIGM 付随研究)	切除不能進行 再発大腸癌	武田薬品	実施中
UMIN000016776	RAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験(PARADIGM study)	切除不能進行 再発大腸癌	武田薬品	実施中
	StageⅢb大腸癌治癒切除例に対する術後補助化学 療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS- 1/Oxaliplatin療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	StageⅢ大腸癌	大鵬薬品	登録修了 追跡期間中
	個別化医療に有用な遺伝子体外診断薬システムの 研究開発	固形がん	山口大学消化 器腫瘍外科	実施中
UMIN000011750	肛門近傍の下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の前向き第Ⅱ相試験(ULTIMATE TRIAL)	下部直腸癌	大腸癌研究会	実施中

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000013919	下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義	下部進行直腸 癌	腹腔鏡下大腸 切除研究会	実施中
UMIN000009280	治癒切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としてのBi-weekly XELIRI+Bevacizumab療法の有効性・安全性の検討:第 II 相臨床試験 JSWOG C3	進行・再発大 腸癌	中四国がん臨 床研究支援機 構	実施中
UMIN000015405	治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ベバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX+ベバシズマブ遂次治療とXELOX/FOLFOX+ベバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験 C Cubed Study (JSWOG C-4)	切除不能進行 再発大腸癌	中四国がん臨 床研究支援機 構	実施中







腹腔鏡直腸癌手術風景

# 肝胆膵グループ

スタッフ

上野富雄、爲佐卓夫、坂本和彦、 徳久善弘、新藤芳太郎、 徳光幸生、松井洋人、松隈<u>聰</u>



山口県では唯一の日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設(A)として認定を受け、拡大手術・内視鏡手術、(術前・術後)化学療法など、肝胆膵領域のベストの治療が選択できるよう、日々診療にあたっています。特に、肝胆膵領域の手術については、高難度手術がほとんどであるため、その提供においては、専門医とともに十分な症例数も重要になります。当院における肝胆膵領域癌治療では、消化器内科や放射線科と週2回のカンファレンス(Cancer Board)を行なっており、手術治療を中心に、抗がん剤治療や放射線療法など包括的な統合的医療の提供を目指しています。そして、難治癌である胆道癌や膵臓癌に対する血管合併切除をも積極的に適応とし、集学的治療を展開しております。同領域での、腹腔鏡下肝切除、腹腔鏡下膵切除の症例数も多く、全国と比較しても遜色はありません。また、救命救急センターとの密に連携し、急性胆嚢炎などの緊急症例についても対応しています。

# 平成27年診療研究情報報告

## 入院患者数

肝疾患	115
肝細胞癌	42
肝内胆管癌	39
転移性肝腫瘍(大腸癌)	31
その他	3

胆道疾患	80
胆嚢癌	22
胆管癌	12
十二指腸乳頭部癌	3
良性・その他	43

膵・脾疾患	35
膵癌	19
慢性膵炎	5
IPMN	3
PNET	2
脾機能亢進症	0
その他	6

## 手術症例数

### () 腹腔鏡手術症例、\*重複あり

		肝切除 胆管		胆管	—————— 膵頭十二	膵体尾	そ				
	· 葉切 以上	区域	亜 区域	外側 区域	部分	焼灼	切除 再建	指腸切除	部切除	の 他	計
肝細胞癌	2	3	5	3(2)	25(14)	2(2)		-	-		40(18)
肝内胆管癌		1			1(1)			-	-		2(1)
転移性肝癌	4*		1	2(1)	13(6)		1*	-	-		20(7)
その他の肝疾患		1			2(2)			-	-		3(2)
肝門部・上部胆管癌	3*						4*				4
中・下部胆管癌											0
胆囊癌	2*				1		5*				5
乳頭部癌								4			4
その他の胆道疾患											35(34)
膵頭部癌	-	-	-	-	-	-		6			6
膵体尾部癌	-	-	-	-	-	-			6		6
その他の膵疾患	-	-	-	-	-	-			2		2
計	11*	5	6	5(3)	42(23)	2(2)	10*	10	8		127(62)

## トピックス

- 3月 「肝細胞癌切除術後の新規ステージングシステム」に関する論文がInt J Oncol 誌に掲載されました(徳光)。
- 5月 吻合補助器が平成27年度やまぐち産業戦略研究開発等補助金事業に採択されました(上野)。 APPLE(Asian-Pacific Primary Liver Cancer Expert meeting)で徳光が発表しました。
- 8月 大阪大学に生体肝移植見学に行きました(上野、坂本、徳久、新藤、松隈、松井、中島)。
- 9月 「肝切除術後肺炎と術翌日の喀痰培養の関連性」に関する論文が J Gastrointest Surg 誌に掲載されました (坂本)。

Hepatology Meeting in Yamaguchi で「肝移植-再開への第一歩」を永野教授が講演しました。

- 10月 大阪大学に生体肝移植見学に行きました(徳久、徳光、松隈)
- 11月 第 138回山口県医師会生涯研修セミナーで「消化器がんに対するがん薬物療法」について上野講師が講演しました。

KHBO(関西肝胆道オンコロジーグループ)学術講演会に参加しました(坂本、徳久、新藤、徳光、松隈、

12月 松井、中島)。

九州胆・膵癌治療フォーラムに参加しました(上野、坂本)。

## 平成27年研究報告(平成27年12月31日現在)

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000010253	特許化した吻合補助器を用いた新規吻合法に関 する臨床研究	膵癌、胆管癌、 十二指腸乳頭 部癌、十二指 腸癌	山口大学	実施中
000009945	肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対す Gemcitabine(GEM)またはS-1の術後補助化学 療法の無作為化第II相比較試験 (KHBO1208)	胆道癌(肝内 胆管癌を含 む)	КНВО	実施中
000009831	FDG-PET陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆 道癌に対する術前GCS療法のphaseII 試験 (KHBO1201)	胆道癌	KHBO	IRB申請中
000010425	高度脈管侵襲を伴う進行肝細胞癌に対する肝切 除術と術後肝動注化学療法の有用性に関する臨 床研究(KHBO1207)	肝細胞癌	KHBO	IRB申請中
000019205	腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する前向き多施 設共同研究	肝臓病(腹腔鏡 下肝切除術を 予定された患 者)	肝臓内視鏡外 科研究会	IRB申請中
000014371	胆道癌に対するGEM/CDDP/S-1 vs GEM/CDDPの第Ⅲ相試験(KHBO1401)	切除不能胆道 癌	КНВО	IRB申請中
000017914	中部胆管癌に対するPDと胆管切除の比較 (胆 管切除後の追加PDの妥当性の評価) 日本肝胆 膵外科学会 日韓合同プロジェクト	中部胆管癌	肝胆膵外科学 会	実施中
000018763	膵全摘患者に対する前向き実態調査	膵全摘予定の 患者	近畿大学	実施中
000019371	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌 の高精度診断の具現化	膵癌	大阪大学	実施中





開腹手術(永野教授と)

吻合補助器





腹腔鏡下肝切除(3Dモニター使用しています)

# 乳腺内分泌グループ

## スタッフ 山本 滋、前田訓子、筒井理仁



乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS), ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。さらに乳房温存手術において、乳腺部分切除後の欠損部に対する乳腺脂肪弁充填術式も新規考案し、良好な整容性が保たれています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、すべてのインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。今後は、新たな試みとして乳房円状部分切除のための補助器具(特許取得済み)の開発・製品化に取り組み、さらに山口県の乳腺外科および内分泌外科の若手専門医の教育・育成に力を注ぎたいと思います。

# 平成27年診療研究情報報告

### 入院患者数

乳腺疾患	122	甲状腺疾患	17
	88	甲状腺癌	7
良性疾患	13	Basedow病	4
マンモトーム検査	16	良性腫瘍・その他	3
その他	5	副甲状腺疾患	3

## 手術症例数

乳腺疾患	101
乳癌に対する手術	88
乳房切除術単独	3
乳房切除術+センチネルリンパ節生検	40
乳房切除術+腋窩リンパ節郭清	15
乳房温存術単独	3
乳房温存術+センチネルリンパ節生検	20
乳房温存術+腋窩リンパ節郭清	4
皮下乳腺全摘+乳房再建	2
悪性・その他	1
良性・その他	13

甲状腺・副甲状腺疾患	16
甲状腺癌に対する手術	7
甲状腺葉切除+頚部郭清	3
甲状腺全摘+頚部郭清	4
甲状腺良性腫瘤	2
Basedow病手術	4
副甲状腺手術	3

<del>17</del>

## トピックス

- 1月 「3次元CTを使用したセンチネルリンパ節ナビゲーションシステム」に関する論文がBreast Cancer誌に掲載されました(山本)。
- 6月 日本乳癌学会で、山本(厳選口演に採択)、前田が発表しました。
- 10月 日本癌治療学会で、山本、前田、筒井が発表しました。 山口県マンモグラフィ講習会で、講師を務めました(山本)
- 12月 マンモグラフィ講習会で筒井が検診マンモグラフィ読影認定医A判定

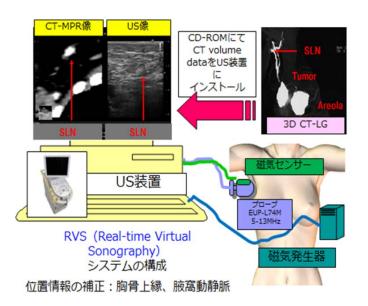
## 平成27年研究報告(平成27年12月31日現在)

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組 織	進捗状況
000007166	A phase II study of a low dose every 3 weeks Nab-paclitaxel for metastatic or recurrent breast cancer.	転移・再発乳 癌	山口大学	登録終了
	転移性乳癌におけるエリブリン・タキサ ン逐次投与の有用性の検討	転移乳癌	山口大学	IRB申請中
000015780	乳がん術後上肢リンパ浮腫の検出に用い られる非侵襲的検査値の術後変動の検討	乳癌	山口大学	実施中
000014952	FUSION 01study	乳癌	日本乳腺甲 状腺超音波 医学会	実施中
000000843	JBCRG-04	病理学的R1 乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳 癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペル ツズマブ再投与の有用性を検証する第III 相臨床研究 – ペルツズマブ再投与試験 – JBCRG-M05(PRECIOUS)」	HER2陽性乳 癌	JBCRG	IRB申請中





乳房手術風景



3D CT-lymphography (LG)およびReal-time virtual sonography(RVS)システムを用いた、センチネルリンパ節同定法



教室で開発した乳腺円状部分切除補助器

# 2015年 業績報告



松下村塾(萩市) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 吉田松陰が主宰した私塾で、多くの維新志士を輩出しました。

## 英文論文

- 1. Akita H, Marubashi S, Wada H, Hama N, Kawamoto K, Kobayashi S, Eguchi H, Doki Y, Mori M, Nagano H. Combination therapy with S-1 and interferon-a in hepatocellular carcinoma patients with lung metastasis. Mol Clin Oncol. 2015; 3(2): 322-328.
- 2. Asukai K, Kawamoto K, Eguchi H, Konno M, Nishida N, Koseki J, Noguchi K, Hasegawa S, Ogawa H, Yamada D, Tomimaru Y, Tomokuni A, Asaoka T, Noda T, Wada H, Gotoh K, Marubashi S, Nagano H, Doki Y, Mori M, Ishii H. Prognostic Impact of Peritumoral IL-17-Positive Cells and IL-17 Axis in Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma. Ann Surg Oncol. 2015;22 Suppl 3:1524-15231.
- 3. Beppu T, Wakabayashi G, Hasegawa K, Gotohda N, Mizuguchi T, Takahashi Y, Hirokawa F, Taniai N, Watanabe M, Katou M, Nagano H, Honda G, Baba H, Kokudo N, Konishi M, Hirata K, Yamamoto M, Uchiyama K, Uchida E, Kusachi S, Kubota K, Mori M, Takahashi K, Kikuchi K, Miyata H, Takahara T, Nakamura M, Kaneko H, Yamaue H, Miyazaki M, Takada T. Long-term and perioperative outcomes of laparoscopic versus open liver resection for colorectal liver metastases with propensity score matching: a multi-institutional Japanese study. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015; 22(10): 711-720.
- 4. Fujita Y, Kozawa J, Iwahashi H, Yoneda S, Uno S, Yoshikawa A, Okita K, Eguchi H, Nagano H, Imagawa A, Shimomura I. Increment of serum C-peptide measured by glucagon test closely correlates with human relative beta-cell area. Endocr J. 2015; 62(4): 329-337.
- 5. Fujiwara Y, Kobayashi S, Nagano H, Kanai M, Hatano E, Toyoda M, Ajiki T, Takashima Y, Yoshimura K, Hamada A, Minami H, Ioka T. Pharmacokinetic Study of Adjuvant Gemcitabine Therapy for Biliary Tract Cancer following Major Hepatectomy (KHBO1101). PLoS One. 2015; 10(12): e0143072.
- 6. Furukawa K, Kawamoto K, Eguchi H, Tanemura M, Tanida T, Tomimaru Y, Akita H, Hama N, Wada H, Kobayashi S, Nonaka Y, Takamatsu S, Shinzaki S, Kumada T, Satomura S, Ito T, Serada S, Naka T, Mori M, Doki Y, Miyoshi E, Nagano H. Clinicopathological Significance of Leucine-Rich a2-Glycoprotein-1 in Sera of Patients With Pancreatic Cancer. Pancreas. 2015; 44(1): 93-98.
- 7. Hirokawa F, Kubo S, Nagano H, Nakai T, Kaibori M, Hayashi M, Takemura S, Wada H, Nakata Y, Matsui K, Ishizaki M, Uchiyama K. Do patients with small solitary hepatocellular carcinomas without macroscopically vascular invasion require anatomic resection? Propensity score analysis. Surgery. 2015; 157(1): 27-36.
- 8. Hirose K, Matsui T, Nagano H, Eguchi H, Marubashi S, Wada H, Morii E. Atypical glomus tumor arising in the liver: a case report. Diagn Pathol. 2015; 10(1): 112.
- 9. Hori M, Okada T, Higashiura K, Sato Y, Chen YW, Kim T, Onishi H, Eguchi H, Nagano H, Umeshita K, Wakasa K, Tomiyama N. Quantitative Imaging: Quantification of Liver Shape on CT Using the Statistical Shape Model to Evaluate Hepatic Fibrosis. Acad Radiol. 2015; 22(3): 303-309.
- 10. Ideo H, Hinoda Y, Sakai K, Hoshi I, Yamamoto S, Oka M, Maeda K, Maeda N, Hazama S, Amano J, Yamashita K. Expression of mucin 1 possessing a 3'-sulfated core1 in recurrent and metastatic breast cancer. Int J Cancer. 2015; 137(7): 1652-1660.
- 11. Ikeda N, Tomizawa R, Moriya R, Yamanaka J, Suzuki H, Eguchi H, Nagano H, Umeshita K. Perioperative Anxiety, Pain, and Salivary Amylase in Patients Undergoing Pancreatic Surgery. International Journal of Psychological Studies. 2015; 7(2): 206-2013.
- 12. Iizuka N, Hamamoto Y. Constipation and herbal medicine. Front Pharmacol. 2015 Apr 8;6.
- 13. Iwagami Y, Eguchi H, Wada H, Tomimaru Y, Hama N, Kawamoto K, Kobayashi S, Mori M, Doki Y, Nagano H. Implications of peritoneal lavage cytology in resectable left-sided pancreatic cancer. Surg Today. 2015; 45(4): 444-450.
- 14. Kanai M, Hatano E, Kobayashi S, Fujiwara Y, Marubashi S, Miyamoto A, Shiomi H, Kubo S, Ikuta S, Yanagimoto H, Terajima H, Ikoma H, Sakai D, Kodama Y, Seo S, Morita S, Ajiki T, Nagano H, Ioka T. A multi-institution phase II study of gemcitabine/cisplatin/S-1 (GCS) combination chemotherapy for patients with advanced biliary tract cancer (KHBO 1002). Cancer Chemother Pharmacol. 2015; 75(2): 293-300.

- 15. Kanekiyo S, Iizuka N, Tsunedomi R, Tokumitsu Y, Hashimoto N, Tokuhisa Y, Maeda Y, Iida M, Sakamoto K, Tamesa T, Fujita Y, Yoshino S, Hazama S, Hamamoto Y, Oka M. Preoperative serum methylation signature as prognostic tool after curative hepatectomy in patients with hepatocellular carcinoma. Anticancer Res. 2015; 35(2): 997-1007.
- 16. Maeda Y, Yoshimura K, Matsui H, Shindo Y, Tamesa T, Tokumitsu Y, Hashimoto N, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Sakai K, Suehiro Y, Hinoda Y, Tamada K, Yoshino S, Hazama S, Oka M. Dendritic cells transfected with heat-shock protein 70 messenger RNA for patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma: a phase 1 dose escalation clinical trial. Cancer Immunol Immunother. 2015 Aug;64(8):1047-56.
- 17. Maekawa R, Sato S, Okada M, Lee L, Tamura I, Jozaki K, et al. Tissue-Specific Expression of Estrogen Receptor 1 Is Regulated by DNA Methylation in a T-DMR. Molecular Endocrinology. Endocrine Society Washington, DC; 2015 Dec 18.
- 18. Makino Y, Miyazaki M, Shigekawa M, Ezaki H, Sakamori R, Yakushijin T, Ohkawa K, Kato M, Akasaka T, Shinzaki S, Nishida T, Miyake Y, Hama N, Nagano H, Honma K, Morii E, Wakasa K, Hikita H, Tatsumi T, Iijima H, Hiramatsu N, Tsujii M, Takehara T. Solitary fibrous tumor of the liver from development to resection. Intern Med. 2015; 54(7): 765-770.
- 19. Matsui T, Hori Y, Nagano H, Eguchi H, Marubashi S, Wada H, Wada N, Ikeda JI, Sakamoto M, Morii E. Poorly differentiated hepatocellular carcinoma accompanied by anti-Hu antibody-positive paraneoplastic peripheral neuropathy. Pathol Int. 2015; 65(7): 388-392.
- 20. Matsukuma S, Sakamoto K, Nishiyama M, Tamesa T, Yoshino S, Hazama S, et al. Prognostic factors in patients with septic shock in digestive surgery who have undergone direct hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fibers: a retrospective observational study. Journal of Intensive Care. 2015 Mar 13;3(1):1.
- 21. Mukai R, Tomimaru Y, Nagano H, Eguchi H, Mimori K, Tomokuni A, Asaoka T, Wada H, Kawamoto K, Marubashi S, Doki Y, Mori M. miR-615-3p expression level in bone marrow is associated with tumor recurrence in hepatocellular carcinoma. Mol Clin Oncol. 2015;3(3): 563-571.
- 22. Murakami K, Takiguchi S, Miyazaki Y, Kurokawa Y, Yamasaki M, Nagano H, Mori M, Doki Y. Perturbation of acyl ghrelin profile after liver transplantation. J Surg Res. 2015; 199(2): 450-457.
- 23. Nakao M, Ueno T, Oga A, Kuramitsu Y, Nakatsu H, Oka M. Proposal of intestinal tissue engineering combined with Bianchi's procedure. J Pediatr Surg. 2015; 50(4): 573-580.
- 24. Nakashima S, Kobayashi S, Nagano H, Tomokuni A, Tomimaru Y, Asaoka T, Hama N, Wada H, Kawamoto K, Marubashi S, Eguchi H, Doki Y, Mori M. BRCA/Fanconi anemia pathway implicates chemoresistance to gemcitabine in biliary tract cancer. Cancer Sci. 2015; 106(5): 584-591.
- 25. Nakatsu H, Ueno T, Oga A, Nakao M. Influence of mesenchymal stem cells on stomach tissue engineering using small intestinal submucosa Nakatsu 2013 Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine Wiley Online Library. J Tissue Eng Regen Med 2015; 9: 296–304.
- 26. Noguchi K, Eguchi H, Konno M, Kawamoto K, Nishida N, Koseki J, Wada H, Marubashi S, Nagano H, Doki Y, Mori M, Ishii H. Susceptibility of pancreatic cancer stem cells to reprogramming. Cancer Sci. 2015; 106(9): 1182-1187.
- 27. Ogawa H, Nagano H, Konno M, Eguchi H, Koseki J, Kawamoto K, Nishida N, Colvin H, Tomokuni A, Tomimaru Y, Hama N, Wada H, Marubashi S, Kobayashi S, Mori M, Doki Y, Ishii H. The combination of the expression of hexokinase 2 and pyruvate kinase M2 is a prognostic marker in patients with pancreatic cancer. Mol Clin Oncol. 2015; 3(3): 563-571.
- 28. Ogawa H, Wu X, Kawamoto K, Nishida N, Konno M, Koseki J, Matsui H, Noguchi K, Gotoh N, Yamamoto T, Miyata K, Nishiyama N, Nagano H, Yamamoto H, Obika S, Kataoka K, Doki Y, Mori M, Ishii H. MicroRNAs Induce Epigenetic Reprogramming and Suppress Malignant Phenotypes of Human Colon Cancer Cells. PLoS One. 2015; 10(5): e0127119.
- 29. Sakamoto K, Tamesa T, Tokuhisa Y, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Maeda Y, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H, Oka M. Perioperative Microbiologic Monitoring of Sputum on Postoperative Day One as a Predictor of Pneumonia After Hepatectomy. J Gastrointest Surg. 2015; 19(9): 1662-1667.
- 30. Sakane M, Tatsumi M, Kim T, Hori M, Onishi H, Nakamoto A, Eguchi H, Nagano H, Wakasa K, Hatazawa J, Tomiyama N. Correlation between apparent diffusion coefficients on diffusion-weighted MRI and standardized uptake value on FDG-PET/CT in pancreatic adenocarcinoma. Acta Radiol. 2015; 56(9): 1034-1041.

- 31. Shimada M, Morine Y, Nagano H, Hatano E, Kaiho T, Miyazaki M, Kono T, Kamiyama T, Morita S, Sakamoto J, Kusano M, Saji S, Kanematsu T, Kitajima M. Effect of TU-100, a traditional Japanese medicine, administered after hepatic resection in patients with liver cancer: a multi-center, phase III trial (JFMC40-1001). Int J Clin Oncol. 2015; 20(1): 95-104.
- 32. Shindo Y, Yoshimura K, Kuramasu A, Watanabe Y, Ito H, Kondo T, Oga A, Ito H, Yoshino S, Hazama S, Tamada K, Yagita H, Oka M. Combination immunotherapy with 4-1BB activation and PD-1 blockade enhances antitumor efficacy in a mouse model of subcutaneous tumor. Anticancer Res. 2015; 35(1): 129-136.
- 33. Soda H, Maeda H, Hasegawa J, Takahashi T, Hazama S, Fukunaga M, et al. Multicenter Phase II study of FOLFOX or biweekly XELOX and Erbitux (cetuximab) as first-line therapy in patients with wild-type KRAS / BRAF metastatic colorectal cancer: The FLEET study. BMC Cancer. BioMed Central; 2015 Oct 14;15(1):1.
- 34. Tanemura M, Miyoshi E, Nagano H, Eguchi H, Matsunami K, Taniyama K, Hatanaka N, Akamatsu H, Mori M, Doki Y. Cancer immunotherapy for pancreatic cancer utilizing a-gal epitope/natural anti-Gal antibody reaction. World J Gastroenterol. 2015; 21(40): 11396-11410.
- 35. Tanida T, Tanemura M, Miyoshi E, Nagano H, Furukawa K, Nonaka Y, Akita H, Hama N, Wada H, Kawamoto K, Kobayashi S, Eguchi H, Mori M, Doki Y. Pancreatic cancer immunotherapy using a tumor lysate vaccine, engineered to express a-gal epitopes, targets pancreatic cancer stem cells. Int J Oncol. 2015; 46(1): 78-90.
- 36. Tokumitsu Y, Tamesa T, Matsukuma S, Hashimoto N, Maeda Y, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Ueno T, Hazama S, Ogihara H, Fujita Y, Hamamoto Y, Oka M, Iizuka N. An accurate prognostic staging system for hepatocellular carcinoma patients after curative hepatectomy. Int J Oncol. 2015; 46(3): 944-952.
- 37. Tokumitsu Y, Yoshino S, Iida M, Yoshimura K, Ueno T, Hazama S, et al. Intraoperative dissemination during gastrectomy for gastric cancer associated with serosal invasion. Surg Today. Springer Japan; 2015 Jun;45(6):746–51.
- 38. Tokumitsu Y, Yoshino S, Iida M, Yoshimura K, Ueno T, Hazama S, Oka M. Intraoperative dissemination during gastrectomy for gastric cancer associated with serosal invasion. Surg Today. 2015; 45(6): 746-751.
- 39. Tomimaru Y, Eguchi H, Satoh T, Tomokuni A, Asaoka T, Wada H, Marubashi S, Ogawa K, Takehara T, Mori M, Doki Y, Nagano H. Feasibility of pre-operative chemoradiotherapy with gemcitabine to treat pancreatic cancer in patients with impaired renal function. Jpn J Clin Oncol. 2015; 45(4): 343-348.
- 40. Tomimaru Y, Eguchi H, Tatsumi M, Kim T, Hama N, Wada H, Kawamoto K, Kobayashi S, Morii E, Mori M, Doki Y, Nagano H. Clinical utility of 2-[18F] fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography in predicting World Health Organization grade in pancreatic neuroendocrine tumors. Surgery. 2015; 157(2): 269-276.
- 41. Tomimaru Y, Ito T, Marubashi S, Kawamoto K, Tomokuni A, Asaoka T, Wada H, Eguchi H, Mori M, Doki Y, Nagano H. De novo malignancy after pancreas transplantation in Japan. Transplant Proc. 2015; 47(3): 742-745.
- 42. Tomimaru Y, Kobayashi S, Wada H, Hama N, Kawamoto K, Eguchi H, Kira T, Morii E, Doki Y, Mori M, Nagano H. Intrahepatic cholangiocarcinoma in a worker at an offset color proof-printing company: An autopsy case report. Hepatol Res. 2015; 45(4): 488-493.
- 43. Tomimaru Y, Wada H, Eguchi H, Tomokuni A, Hama N, Kawamoto K, Marubashi S, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Wakasa K, Nagano H. Clinical significance of surgical resection of metastatic lymph nodes from hepatocellular carcinoma. Surg Today. Surg Today. 2015; 45(9): 1112-1120.
- 44. Wakasugi M, Tori M, Shimizu J, Kim YK, Noda T, Dono K, Takeda Y, Yamamoto T, Oshima S, Morimoto Y, Asaoka T, Eguchi H, Nagano H, Mori M, Doki Y; Hepato-Biliary-Pancreatic Group of the Clinical Study Group of Osaka University. Efficacy of preoperative dexamethasone for postoperative nausea and vomiting after laparoscopic cholecystectomy: a large-scale, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial in Japan. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015; 22(11): 802-809.
- 45. Yamamoto S, Suga K, Maeda K, Maeda N, Yoshimura K, Oka M. Breast sentinel lymph node navigation with three-dimensional computed tomography-lymphography: a 12-year study. Breast Cancer. Springer Japan; 2015 Jan 11;:1–7.
- 46. Zhang Y, Suehiro Y, Shindo Y, Sakai K, Hazama S, Higaki S, et al. Long-fragment DNA as a potential marker for stool-based detection of colorectal cancer. Oncology Letters. Spandidos Publications; 2015 Jan 1;9(1):454–8.

## 和文論文

- 1. 井上由佳、硲 彰一、恒富良一、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、岡 正朗 永野浩昭 FcgR 遺伝子多型によるセッキシマブ効果予測の検討 癌と化学療法 42巻 第10号 株式会社 癌と化学療法社 1310-1312
- 2. 海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、北出浩章、權雅憲、土師誠二、竹村茂一、塚本忠司、金沢景繁、武田 裕、和田浩志、 永野浩昭、久保正二; 肝癌外科術後の再発進行症例に対するソラフェニブ投与奏効症例の多施設共同検討 Progress in Medicine 35巻 第4号 ライフ・サイエンス 731-736
- 3. 古谷 圭、徳光幸生、吉野茂文、井上由佳、飯田通久、爲佐卓夫、武田 茂、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭; 直腸癌胃壁転移と鑑別を要した粘膜下腫瘍様胃癌の1例 癌と化学療法 第42巻 第12号 株式会社 癌と化学療法社 1971-1973
- 4. 向井洋介、和田浩志、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 巨大肝細胞癌・肺浸潤に対しソラフェニブ投与後に切除し得た1例 癌と化学療法 第42巻 第12号 株式会社 癌と化学療法社 1638-1640
- 5. 江口英利、丸橋 繁、和田浩志、浅岡忠史、富丸慶人、友國 晃、森 正樹、土岐祐一郎、永野浩昭; BR膵癌に対する術前化 学放射線療法の意義 胆と膵 36巻 5号 447-450
- 6. 佐々木一樹、富丸慶人、和田浩志、小川久貴、山田大作、友國 晃、浅岡忠史、野田剛広、後藤邦仁、川本弘一、丸橋 繁、 江口英利、永野浩昭、土岐祐一郎、森正樹; 門脈内腫瘍栓を合併した大腸癌肝転移の1例 癌と化学療法 第42巻 第12号 株式会社 癌と化学療法社 1854-1856
- 7. 酒井健司、和田浩志、江口英利、小川久貴、山田大作、富丸慶人、友國 晃、浅岡忠史、野田剛広、後藤邦仁、川本弘一、 丸橋 繁、梅下浩司、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹; 下大静脈浸潤を伴う大腸癌術後肝転移再発に対して人工血管置換再建 により治癒切除し得た1例癌と化学療法 第42巻 第12号 癌と化学療法社2181-2183
- 8. 川本弘一、伊藤壽記、永野浩昭; 国内外における臨床膵島移植の現状と展望 "再生医療シリーズ 膵島の再生医療 一膵β細胞の発生と再生をめぐる新展開一" 2015年2月20日 株式会社 診断と治療社 130-134
- 9. 太田啓介、徳久善弘、為佐卓夫、中島正夫、松隈 聰、徳光幸生、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、 永野浩昭 高度門脈内腫瘍栓 (Vp4) を伴う肝細胞癌 (HCC) に対し集学的治療を施行した1例 癌と化学療法 第42巻 第 12号 株式会社 癌と化学療法社 1848-1850
- 10. 硲 彰一、岡 正朗; "最新臨床大腸癌学 —基礎研究から臨床応用へ— VII 大腸癌の検査・診断 大腸癌の分子生物学的検査 UGT1A1遺伝子多型検査の意義と実際" 日本臨牀 73巻 増刊号4 374-378
- 11. 硲 彰一、岡 正朗; "最新臨床大腸癌学 —基礎研究から臨床応用へ—VIII 大腸癌の治療 遺伝子治療・免疫治療 大腸癌の 免疫治療—現状と展望—" 日本臨牀 73巻 増刊号4 574-578
- 12. 富丸慶人、江口英利、丸橋 繁、森 正樹、土岐祐一郎、永野浩昭; IVR治療8ヵ月後に再発した膵頭十二指腸切除術後仮性動脈瘤の1例 日本臨床外科学会雑誌 平成27年 第76巻6号 日本臨床外科学会 1489-1493
- 13.野口幸蔵、富丸慶人、江口英利、小川久貴、山田大作、友國 晃、野田剛広、浅岡忠史、和田浩志、川本弘一、後藤邦仁、丸橋 繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎; 残膵全摘術を施行した膵異時性多発癌の3例 癌と化学療法 第42巻 第12号 株式会社 癌と化学療法社 2346-2348

## 国際学会発表・司会

#### 2015 ASCO GI 1/15-1/17 San Francisco, CA, USA

Shigefumi Yoshino, Furuya Takumi, Koichiro Sakata, Ryoichi Shimizu, Naoko Okayama, Shoichi Hazama, Masaaki
Oka; Multicenter trial for assessing cytokine promoter gene polymorphism as a predictive parameter of PSK
responder for curatively resected stage II or III colorectal cancer. Poster Session

### 2015 ASCO Annual Meeting 5/29-6/2 Alexandria, Virginia

- Hiroaki Tanaka, Nobuaki Suzuki, Haruo Iguchi, Kazuhiro Uesugi, Kosei Hirakawa, Ryosuke Amano, Atsushi Aruga, Takashi Hatori, Ishizaki Hidenobu, Yuzo Umeda, Mitsuo Shimada, Kazuhiko Yoshimatsu, Ryoichi Shimizu, Hiroaki Ozasa, Hiroto Hayashi, Koichiro Sakata, Tomio Ueno, Hiroyuki Furukawa, Shoichi Hazama, Masaaki Oka; A phase II study of novel three peptides combination with gemcitabine as a first-line therapy for advanced pancreatic cancer (VENUS-PC study). Poster Session
- 2. Hiroaki Ozasa, Shoichi Hazama, Ryoichi Shimizu, Ryuichi Etoh, Yuka Inoue, Shinsuke Kanekiyo, Yoshitaro Shindo, Nobuaki Suzuki, Hiroko Takenouchi, Ryouichi Tsunedomi, Norio Iizuka, Shigefumi Yoshino, Kiyotaka Okuno, Fumiaki Sugiura, Yusuke Fujita, Yoshihiko Hamamoto, Tomonobu Fujita, Yutaka Kawakami, Yusuke Nakamura, Masaaki Oka ;miR-196b and miR-486 as predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment: From the results of phase I and II studies for metastatic colorectal cancer.

### The 6th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (APPLE 2015) 7/3-7/5 Oosaka, Japan

- 1. Nagano H; Controversial Issues on Surgical Treatment COMMENTATOR
- 2. Tokumitsu Y, Tamesa T, Nakajima M, Matsukuma S, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Hazama S, Nagano H; An Accurate Prognostic Staging System for Hepatocellular Carcinoma Patients After Hepatectomy POSTER PRESENTATION
- 3. Wada H, Eguchi H, Marubashi S, Tomimaru Y, Tomokuni A, Asaoka T, Kawamoto K, Umeshita K, Nagano H, Doki Y, Mori M; Selection Criteria for Hepatic Resection to Hepatocellular Carcinoma with Multiple Nodules at Intermediate Stage of BCLC POSTER PRESENTATION

### European Cancer Congress 2015 (ECC 2015) 9/25-9/29 Vienna, Austria

- 1. Nishimura T, Yoshino S, Sakata K, Furuya T, Inoue K, Saeki T, Takemoto K, Etoh R, Kawaoka T, Hasegawa H, Kondo H, Araki A, Kudo A, Hashimoto K, Uchiyama T, Yamamoto T, Inoue Y, Okayama N, Hazama S, Nagano H; A multicenter prospective single-arm study to assess the predictive biomarkers of PSK responder from the analysis of cytokine promoter gene polymorphisms in patients with stage II or III colorectal cancer Poster Session
- 2. Iguchi H, Suzuki N, Uesugi K, Tanaka H, Hirakawa K, Aruga A, Hatori T, Ishizaki H, Umeda Y, Fujiwara T, Shimada M, Ikemoto T, Yoshimatsu K, Shimizu R, Hayashi H, Sakata K, Yoshino S, Furukawa H, Hazama S, Oka M; A phase II study of cancer vaccination using three peptides combination with gemcitabine as a first-line therapy for advanced pancreatic cancer (VENUS-PC study) Poster Session
- 3. Nishikawa K, Yoshino S, Morita S, Takahashi T, Sakata K, Nagao J, Nemoto H, Murakami N, Matsuda T, Hasegawa H, Shimizu R, Yoshikawa T, Osanai H, Imano M, Naitoh H, Yabe M, Tanaka A, Sakamoto J, Saji S, Oka M; A randomized phase III study of S-1 alone versus S-1 plus immunomodulator lentinan for unresectable or recurrent gastric cancer (JFMC36-0701) Poster Session

#### 23rd United European Gastroenterology Week 10/24-10/28 Barcelona, Spain

- Iida M, Hazama S, Tsunedomi R, Tamesa T, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Kawakami Y, Nagano H;
   OVEREXPRESSION OF MIRNA221 AND 222 IN CANCER STROMA IS ASSOCIATED WITH MALIGNANT POTENTIALS
   IN COLORECTAL CANCER A22 Oral Presentation
- 2. Ueno T, Nakao M, Fujimoto T, Tamesa T, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H; INTESTINAL ELONGATION USING SMALL INTESTINAL TISSUE ENGINEERING IN COMBINATION WITH BIANCHIS PROCEDURE Poster Session

### 46th Annual Meeting of the AMERICAN PANCREATIC ASSOCIATION 11/4-11/7 SAN DIEGO, CALIFORNIA

 Shindo Y, Ueno T, Suzuki N, Matsui H, Nakajima M, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Tamesa T, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H; Pancreas Transection With Linear Stapler and Bipolar Cautery Forceps in Distal Pancreatectomy Poster Session

## 国内学会発表・司会

#### 第82回大腸癌研究会 1/23 東京

1. 井上由佳、硲 彰一、兼清信介、新藤芳太郎、中尾光宏、吉野茂文、岡 正朗 StageⅢ大腸癌における開腹VS鏡視下大腸切除術の長期予後の後向き検討 ミニオーラル

#### 第43回中国四国甲状腺外科研究会

1. 前田和成、山本 滋、前田訓子、中尾光宏、硲 彰一、岡 正朗 原発性副甲状腺機能亢進症19例の検討 一般演題

### 第87回日本胃癌学会総会 3/4-3/6 広島

- 1. 来嶋大樹、吉野茂文、兼清信介、飯田通久、硲 彰一、星井嘉信、岡 正朗 胃癌の H E R 2 検査 ( I H C 法) におけるホルマ リン固定時間の検討 ポスター
- 2. 北原正博、西山光郎、兼清信介、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 食道胃接合部癌手術症例の至適郭清 範囲の検討 ポスター
- 3. 飯田通久、吉野茂文、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 幽門側胃切除術後残胃癌の臨床病理学的検討 ポスター
- 4. 吉野茂文、上野富雄、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、硲 彰一、岡 正朗 腹腔鏡補助下胃全摘術における標準化を目指したい開腹創からの鏡視下体外吻合 ビデオ
- 5. 鈴木伸明 進行・再発胃癌に対するS-1隔日投与+レンチナン併用療法の第II相臨床試験 ポスター

#### 第51回日本腹部救急医学会総会 3/5-3/6 京都

- 1. 兼定 航、上野富雄、松井洋人、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 術前診断に難渋したMeckel憩室による絞扼性レイウスの一 例 口演
- 2. 松井洋人、上野富雄、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 感染性肝嚢胞を伴った無石胆嚢炎の一例 一般演題
- 3. 兼清信介、西山光郎、北原正博、渡邊裕策、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 腹臥位胸腔鏡下食道亜全摘施行後に 横行結腸が左胸腔内に迷入した1例 一般演題
- 4. 新藤芳太郎、吉野茂文、兼清信介、中尾光宏、硲 彰一、岡 正朗 腹膜播種と異物肉芽腫との鑑別を要した胃癌穿孔の1例 一般演題
- 5. 徳光幸生、中島正夫、田中宏典、井上由佳、北原正博、新藤芳太郎、兼清信介、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗; 腸 重積症を発症した若年悪性リンパ腫に対し腹腔鏡手術を施行した1例 一般演題
- 6. 北原正博、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 広範な大腸壊死を来したS状結腸癌 による閉塞性大腸炎の1例 一般演題

#### 第14回日本再生医療学会総会 3/19-3/21 横浜

1. 中尾光宏, 上野富雄, 吉野茂文, 硲 彰一, 岡 正朗 ブタ小腸粘膜下層 (SIS) を用いた小腸再生の評価 口演

### 第48回制癌剤適応研究会 3/20 静岡

- 1. 井上由佳、硲 彰一、岩本慈能、恒富亮一、吉野茂文、坂本純一、三嶋秀行、岡 正朗 大腸癌の個別化治療を目指した Cetuximabのバイオマーカー探索 シンポジウム
- 2. 恒富亮一、硲 彰一、岡山直子、岡 正朗 イリノテカン副作用バイオマーカーとしてのイリノテカン副作用関連 v a r i a n t の網羅的探索及び道程 シンポジウム

#### 第115回日本外科学会定期学術集会 4/16-4/18 名古屋

- 1. 硲 彰一、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、鈴木伸明、吉野茂文、中村祐輔、杉浦史哲、奥野清隆、藤田知信、田中浩明、田原 浩、清水良一、衛藤隆一、小佐々博明、西村 拓、坂田晃一朗、古谷卓三、河上 裕、岡 正朗 Future biomarkers for immunotherapy: From the results of phase I and II study of five therapeutic peptides for advanced colorectal cancer International Session6 Colorectal surgery
- 2. 上野富雄、中尾光宏、硲 彰一、岡 正朗 短腸症候群患者に対する外科治療法 大型動物を用いた前臨床研究 一般演題
- 3. 中尾光宏、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 ブタ小腸粘膜下層(SIS)を用いた小腸再生の評価 一般演題
- 4. 前田訓子、吉村 清、西山光郎、井上由佳、松井洋人、兼清信介、前田和成、山本 滋、硲 彰一 乳癌腫瘍浸潤リンパ球における Tim-3の発現と乳癌細胞における Galectin-9の発現の検討 一般演題
- 5. 松井洋人、硲 彰一、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聰、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、爲佐卓夫、上野富雄、 吉野茂文、岡正朗 当教室における膵癌術後補助療法としてのGEM併用MUC1-CTL療法の治療成績 一般演題
- 6. 新藤芳太郎、硲 彰一、松井洋人、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、為佐卓夫、上野富雄、吉野茂文、岡 正朗 切除不能進行・再発膵癌に対する免疫療法の効果とバイオマーカーの探求 一般演題
- 7. 徳光幸生、爲佐卓夫、松隈 聰、徳久善弘、坂本和彦、上野富雄、硲彰一、岡 正朗 当科における高度脈管侵襲を伴う肝細 胞癌に対する治療成績 一般演題
- 8. 爲佐卓夫、坂本和彦、松隈 聰、松井正人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 胆嚢牽引法を用いた肝門部グリソン鞘へのアプローチ 一般演題
- 9. 田中宏典、硲 彰一、徳光幸生、井上由佳、松井洋人、北原正博、新藤芳太郎、鈴木伸明、上野富雄、吉野茂文、岡 正朗 仙骨浸潤を伴う直腸癌に対する治療戦略 安全性と根治性向上を目指して 一般演題
- 10.前田和成、吉村 清、前田訓子、井上由佳、北原正博、徳光幸生、兼清信介、硲 彰一、山本 滋 HER2陽性乳癌における PD-L1の発現と臨床的意義の検討 一般演題
- 11. 武田 茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 腹臥位胸腔鏡下食道切除術における腔内牽引器 を用いた縦隔リンパ節郭清 一般演題
- 12. 藤本拓也、吉野茂文、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 当院における残胃癌治療成績と治療 戦略 一般演題
- 14. 井上由佳、硲 彰一、兼清信介、新藤芳太郎、中尾光宏、吉野茂文、岡 正朗 高齢者にも安全、かつ根治性の高い腹腔鏡下 直腸固定術~ 手技と成績 一般演題
- 15. 兼清信介、西山光郎、北原正博、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 食道癌術後肺合併症のリスク評価に関するE-PASSの有用性 一般演題
- 16.来嶋大樹、吉野茂文、兼清信介、飯田通久、硲 彰一、星井嘉信、岡 正朗 胃癌におけるHER2発現の免疫組織化学的検査と ホルマリン固定時間の検討 一般演題
- 17. 松隈 聰、坂本和彦、西山光郎、来嶋大樹、北原正博、松井洋人、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、前田和成、中尾光宏、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、爲佐卓夫、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 PMX-DHPを施行した消化器外科領域における敗血症性ショック症例の予後因子に関する検討 一般演題
- 18. 飯田通久、上野富雄、松隈 聡、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、為佐卓夫、硲 彰一、岡 正朗 膵頭十二指腸切除後遅発性出血に対する危険因子の検討 一般演題
- 19. 坂本和彦、爲佐卓夫、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 血清サイトカイン値からみた腹腔鏡下肝切除の有用性 一般演題
- 20.太田啓介、吉野茂文、武田 茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、硲 彰一、岡 正朗 空腸瘻造設部位に起因する食道癌術 後イレウスの検討と術式の工夫 研修医・医学生ポスターセッション
- 21.兼定 航、上野富雄、松井洋人、新藤芳太郎、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、爲佐卓夫、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 当教室における膵頭十二指腸切除術の成績と肥満因子の検討 研修医・医学生ポスターセッション
- 22. 永野浩昭, 丸橋 繁, 和田 浩志, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濱 直樹, 小林省吾, 江口英利, 上野豪久, 奥山宏臣, 梅下浩司, 土岐祐一郎, 森 正樹 当院における脳死肝移植施行症例と待機症例に関する検討 シンポジウム
- 23.日向 聖, 和田 浩志, 丸橋 繁, 山中 千尋, 松浦 雄祐, 山下 雅史, 谷崎 慶子, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 江口 英利, 梅下浩司, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 肝細胞癌における上皮間葉移行(EMT)と癌幹細胞マーカー(CSC)の発現解析 一般演題

- 24. 梶原 淳, 富丸慶人, 江口英利, 友國 晃, 浅岡忠史, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 c-Met発 現解析に基づく肝細胞癌における肝動脈化学塞栓療法不応の機序解明 一般演題
- 25. 富原英生, 富丸慶人, 江口英利, 岩上佳史, 友國 晃, 浅岡忠史, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 永野浩昭, 森 正樹, 土岐祐一郎 膵癌切除標本における癌幹細胞マーカーc-Metの発現の意義 一般演題
- 26. 中多靖幸, 中居卓也, 竹村茂一, 久保正二, 松井康輔, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 林 道廣, 和田浩志, 永野浩昭 肝細胞癌における亜 区域別の非系統的切除と系統的切除の比較 一般演題
- 27. 古川健太, 種村匡弘, 三善英知, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 江口英利, 永野浩昭, 森 正樹, 土岐祐一郎 ヒト膵癌切除標本を用いた糖鎖改変tumor lysateワクチンを応用した新規免疫療法の構築 一般演題
- 28. 江口英利, 永野浩昭, 丸橋繁, 和田浩志, 浅岡忠史, 富丸慶人, 友國晃, 濱直樹, 川本弘一, 森 正樹, 土岐祐一郎 術前化学放射線治療によって膵癌の予後は本当に改善しているのか? ~当科106例での検討~ 一般演題
- 29. 山下雅史, 和田浩志, 丸橋繁, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 川本弘一, 江口英利, 梅下浩司, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 肝細胞癌に対するCD13阻害薬(ウベニメクス)を用いた併用療法による抗腫瘍効果および作用機序に関する基礎的検討一般演題
- 30.前田 栄, 和田浩志, 丸橋 繁, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 川本弘一, 江口英利, 梅下浩司, 石井 優, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 インターフェロンは肝癌細胞において細胞周期のS/G2/M期に作用してG0/G1期でアポトーシスを誘導する ー 般演題
- 31. 丸橋 繁, 永野浩昭, 小林省吾, 和田浩志, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濱 直樹, 江口英利, 土岐祐一郎, 森 正樹 腹腔鏡下 肝切除手技の開腹肝切除への応用と有用性の検討 シンポジウム
- 32. 和田浩志, 永野浩昭, 丸橋 繁, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濵 直樹, 川本弘一, 小林省吾, 江口英利, 梅下浩司, 土岐祐一郎, 森正樹 高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する肝切除/IFN併用化学療法を基軸とした治療戦略 パネルディスカッション
- 33. 友國 晃, 永野浩昭, 丸橋 繁, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濱直樹, 和田浩志, 川本弘一, 小林省吾, 江口英利, 薮中重美, 萩原邦子, 梅下浩司, 森 正樹, 土岐祐一郎 複数胆管を有するグラフトを用いた肝移植手術における胆道再建法の工夫 胆嚢管-胆管吻合 Young Investigator's Award
- 34. 飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 和田浩志, 木下正彦, 石崎守彦, 永野浩昭, 林 道廣, 久保正二, 中居卓也 切除不能大腸がん両葉多発肝転移症例に対するConversion therapyの有用性 大阪5大学による多施設共同研究- パネルディスカッション
- 35. 三賀森学, 江口英利, 富丸慶人, 友國 晃, 浅岡忠史, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 永野浩昭, 森 正樹, 土岐祐一郎 膵癌細胞株におけるエクソソームを介した薬剤耐性獲得機構の解明 一般演題
- 36. 浅岡忠史, 永野浩昭, 小林省吾, 富丸慶人, 友國 晃, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 江口英利, 梅下浩司, 土岐祐一郎, 森 正樹 肝門部胆管癌に対する根治切除を目指した治療戦略 一般演題
- 37. 畑 知樹, 富丸慶人, 江口英利, 友國 晃, 浅岡忠史, 和田浩志, 川本弘一, 丸橋 繁, 永野浩昭, 森 正樹, 土岐祐一郎 尾側膵切除術後膵瘻予防におけるポリグリコール酸フェルト・フィブリン糊の有用性に関する検討 一般演題
- 38. 阪本卓也, 小林省吾, 和田浩志, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濱直樹, 川本弘一, 江口英利, 梅下浩司, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 胆道癌におけるHDAC阻害剤を用いた上皮間葉転換と化学療法抵抗性の制御 一般演題
- 39.水谷亮輔,和田浩志,富丸慶人,酒井健司,友國晃,浅岡忠史,川本弘一,丸橋、繁,江口英利,梅下浩司,永野浩昭,土岐祐一郎,森 正樹 術後16年目に肝転移を来たしたvon Recklinghausen病に合併した傍神経節腫(paraganglioma)の一例 研修医・医学生ポスターセッション
- 40.中島慎介, 小林省吾, 和田浩志, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濱 直樹, 川本弘一, 丸橋 繁, 江口英利, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 DNA相同組換え修復阻害は胆道癌におけるゲムシタビン感受性を増加させ癌幹細胞分画を減少させる 一般演題
- 41. 飛鳥井慶, 川本 弘一, 石井秀始, 今野雅允, 小関 準, 西田尚弘, 長谷川慎一郎, 友國 晃, 富丸慶人, 浅岡忠史, 濵 直樹, 和田浩志, 丸橋 繁, 江口英利, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 治療抵抗性胆管癌の癌幹細胞に関連するmiRNAの同定 一般 演題
- 42. 松浦雄祐, 和田浩志, 山本浩文, 金致完, 友國 晃, 富丸慶人, 植村 守, 浅岡忠史, 丸橋 繁, 江口英利, 梅下浩司, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 肝細胞癌におけるEFNA1発現の意義 一般演題
- 43. 硲 彰一 一般演題(299): 大腸 基礎 遺伝子 司会
- 44. 永野浩昭 一般演題 (70): 肝 移植-2 司会

### 第36回癌免疫外科研究会 5/14-5/15 鹿児島

- 1. 竹之内寛子、硲 彰一、井上由佳、松井洋人、新藤芳太郎、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、岡 正朗 大腸癌治癒切除例の 予後因子〜腫瘍浸潤CD8陽性T細胞とFoxp3陽性T細胞の解析〜 一般口演
- 2. 鈴木伸明、硲 彰一、松井洋人、松隈 聰、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、為佐卓夫、上野富雄、 吉野茂文、岡 正朗 肝細胞癌 (HCC) に対するHSP70-mRNA導入樹状細胞療法の第 I/II 相臨床試験 一般口演
- 3. 松井洋人、硲 彰一、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、上野富雄、吉野茂文、岡 正朗 膵癌術後補助療法としてのGEM併 用MUC1-CTL療法の治療成績 一般口演
- 4. 吉野茂文、長島由紀子、安積達也、岩朝 勤、鶴谷純司、中川和彦、前田和成、前田訓子、山本 滋、硲 彰一、奥野清隆、岡 正朗 乳癌術後化学療法におけるシイタケ菌糸体LEMのQOLおよび免疫指標に及ぼす影響を検討するランダム化比較試験 一般口演
- 5. 新藤芳太郎、硲 彰一、松井洋人、竹之内寛子、井上由佳、鈴木伸明、吉野茂文、岡 正朗 進行・再発膵癌に対する免疫療 法の効果とバイオマーカーの探求 一般口演
- 6. 硲 彰一、東 幸助、竹之内寛子、恒富亮一、松井洋人、井上由佳、新藤芳太郎、鈴木伸明、吉野茂文、岡 正朗 大腸癌微 小転移制御を目的とした遺伝子治療の基礎的検討 一般口演
- 7. 井上由佳、硲 彰一、竹之内寛子、松井洋人、新藤芳太郎、鈴木伸明、恒富亮一、吉野茂文、坂本純一、三嶋秀行、岡 正朗 FcyR遺伝子多型によるセツキシマブ効果予測の検討 ポスター
- 8. 永野浩昭 主題1「癌の進展に関わる宿主因子(全身・局所)と治療 [] 座長
- 9. 硲 彰一 一般演題(ポスター3)「研究」 座長

#### 第51回日本肝臓学会総会 5/21-5/22 熊本

- 1. 和田浩志、江口英利、永野浩昭 BCLC IntermediateおよびAdvanced Stageに対する肝切除術の治療成績と手術適応 A56 パネルディスカッション
- 2. 富丸慶人、和田浩志、永野浩昭 腫瘍形態に基づいたBCLC Intermediate Stage (BCLC-B) 肝細胞癌の亜分類の提唱 ワークショップ
- 3. 飯田洋也、永野浩昭、久保正二 肝内胆管がん術後再発形態と肝炎ウイルスに関する検討(多施設共同研究) リンパ節郭清は必要か ワークショップ
- 4. 浅岡忠史、森 正樹、永野浩昭 リンパ節転移陽性肝内胆管癌に対する治療成績と今後の課題 ワークショップ
- 5. 梶原 淳、和田浩志、江口英利、富丸慶人、友國 晃、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 c-Met発現解析に基づく肝細胞癌における肝動脈化学塞栓療法不応の機序解明について セッション
- 6. 谷崎慶子、和田浩志、江口英利、友國 晃、桂 宜輝、向井亮太、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、 土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 肝細胞癌に対するインターフェロン併用5-FU化学療法の治療効果増強を目指した基礎的検 討 セッション
- 7. 山下雅史、和田浩志、丸橋 繁、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 肝細胞癌に対するCD13阻害薬(ウベニメクス)を用いた併用療法による抗腫瘍効果および作用機序に関する基礎的 検討 セッション
- 8. 松浦雄祐、和田浩志、丸橋 繁、日向 聖、山下雅史、谷崎慶子、山中千尋、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、 江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 肝癌細胞由来エクソソームの腫瘍細胞増殖に与える影響の検討 セッション
- 9. 日向 聖、和田浩志、丸橋 繁、山中千尋、松浦雄祐、谷崎慶子、山下雅史、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、 江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 門脈内腫瘍栓(Vp3-4)を伴う進行肝細胞癌における上皮間葉移行 (EMT) 関連転写因子と癌幹細胞マーカーの発現解析 セッション
- 10.山中千尋、和田浩志、江口英利、日向 聖、松浦雄祐、山下雅史、谷崎慶子、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、 丸橋 繁、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 肝細胞癌臨床検体における癌幹細胞マーカーCD13の発現とEcadherin, Vimentinの発現解析 セッション
- 11.上西崇弘、竹村茂一、丸橋 繁、永野浩昭、廣川文鋭、林 道廣、松井康輔、海堀昌樹、久保正二 腫瘤形成型肝内胆管癌切除例におけるHBV感染の影響 ポスターセッション
- 12. 永野浩昭 セッション18 肝癌・臨床6 司会

### 第33回日本肝移植研究会 5/28-5/29 神戸

- 1. 丸橋 繁、和田浩志、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、薮中重美、萩原邦子、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 成人間生体肝移植における血管、胆管狭窄の頻度とその治療成績 パネルディスカッション
- 2. 和田浩志、江口英利、丸橋 繁、小川久貴、山田大作、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、野田剛広、川本弘一、後藤邦仁、 梅田浩司、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 教室における生体肝移植レシピエント手術における工夫 Meet the Leading Expert
- 3. 浅岡忠史、丸橋 繁、和田浩志、富丸慶人、友國 晃、川本弘一、江口英利、梅下浩司、薮中重美、萩原邦子、永野浩昭、 土岐祐一郎、森 正樹 当院における胆道再建の工夫とその成績 ビデオパネルディスカッション
- 4. 飛鳥井慶、和田浩志、江口英利、丸橋 繁、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 肝細胞癌に対する肝移植適応基準に関する検討 一般演題
- 5. 和田浩志、江口英利、丸橋 繁、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、野田剛広、後藤邦仁、川本弘一、梅下浩司、土岐祐一郎、森正樹、平松直樹、竹原徹郎、永野浩昭 HCV陽性肝移植症例に対するシメプレビル・ペグインターフェロン・リバビリン3剤 併用による抗ウイルス治療 一般演題
- 6. 佐々木一樹、和田浩志、江口英利、富丸慶人、友國 晃、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、中村純寿、前田 登、 大須賀慶悟、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 肝移植術後7ヵ月目に総肝動脈に形成された仮性動脈瘤に対して血管内治療が 奏効した一例 一般演題
- 7. 永野浩昭 シンポジウム2 「移植コーディネーター育成の諸問題」 司会

#### 日本麻酔科学会第62回学術集会 5/28-5/30 神戸

1. 吉野茂文 患者さんにも麻酔科医にも術者にもストレスのない手術環境を目指して 企業共催セミナー

#### 第12回日本肝がん分子標的治療研究会 6/6 東京

1. 海堀昌樹、坂井和子、石崎守彦、北出浩章、土師誠二、塚本忠司、金沢景繁、武田 裕、和田浩志、永野浩昭、竹村茂一、 久保正二、西尾和人 ソラフェニブ著効例の新しいマーカー候補FGF19コピー数異常についての検討 要望演題

#### 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会 6/11-6/13 東京

- 1. 永野浩昭 若手肝胆膵外科医育成に向けて 教育パネルディスカッション
- 2. 坂本和彦, 爲佐卓夫, 徳久善弘, 中島正夫, 松隈 聰, 松井洋人, 新藤芳太郎, 徳光幸生, 飯田通久, 鈴木伸明, 上野富雄, 硲 彰一 待機的肝切除におけるドレーン留置の是非 ミニワークショップ
- 3. 徳久善弘, 爲佐卓夫, 坂本和彦, 徳光幸生, 松隈 聰, 新藤芳太郎, 松井洋人, 飯田通久, 鈴木伸明, 上野富雄, 硲 彰一, 岡 正朗 当科における肝障害度B症例に対する腹腔鏡下肝切除の治療成績 要望演題
- 4. 松隈聰,爲佐卓夫,中島正夫,松井洋人,新藤芳太郎,徳光幸生,飯田通久,徳久善弘,坂本和彦,鈴木伸明,上野富雄, 硲 彰一,上田高顕,田辺昌寛,松永尚文,岡 正朗 大腸癌肝転移患者におけるGd-EOB-DTPAを用いた肝予備能評価 要望演題
- 5. 鈴木伸明, 上野富雄, 松隈聰, 松井洋人, 徳光幸生, 新藤芳太郎, 徳久善弘, 飯田通久, 坂本和彦, 為佐卓夫, 吉野茂文, 硲 彰一 膵尾部嚢胞性疾患との鑑別に難渋した脾上皮性嚢胞の1例 ポスター
- 6. 新藤芳太郎,上野富雄,松井洋人,飯田通久,坂本和彦,鈴木伸明,為佐卓夫,硲 彰一,岡 正朗 当教室における膵腺扁平上皮癌の4切除例 ポスター
- 7. 徳光幸生, 為佐卓夫, 中島正夫, 松隈 聰, 新藤芳太郎, 松井洋人, 飯田通久, 徳久善弘, 坂本和彦, 鈴木伸明, 上野富雄, 吉野茂文, 硲 彰一, 岡 正朗 胆管侵襲を伴う肝細胞癌の臨床病理学的検討 ポスター
- 8. 松井洋人,上野富雄,新藤芳太郎,松隈 聰,徳光幸生,飯田 通久,徳久善弘,坂本和彦,鈴木伸明,爲佐卓夫,吉野茂文, 硲 彰一,岡 正朗 当教室における膵頭十二指腸切除術と肥満患者の検討 ポスター
- 9. 飯田通久,松井洋人,新藤芳太郎,坂本和彦,鈴木伸明,上野富雄,硲 彰一 当科における膵全摘術の治療成績 ポスター
- 10. 上野富雄, 鈴木伸明, 飯田通久, 新藤芳太郎, 松井洋人, 徳久善弘, 坂本和彦, 為佐卓夫 膵尾側切除術における膵液瘻防止 のための工夫 ポスター
- 11.中島正夫,上野富雄,飯田通久,新藤芳太郎,鈴木伸明,松井洋人,坂本和彦,為佐卓夫,徳久善弘,徳光幸生,松隈 聰, 吉野茂文,硲 彰一,岡 正朗 膵頭十二指腸切除術後の異時性肺転移を切除し長期生存を得た膵癌の1例 ポスター
- 12. 高田泰次, 武冨紹信, 江川裕人, 海道利実, 永野浩昭, 調 憲 4つの肝移植多施設共同研究について 日本肝胆膵外科学会プロジェクト
- 13. 和田浩志, 江口英利, 富丸慶人, 友國 晃, 浅岡忠史, 川本弘一, 丸橋 繁, 梅下浩司, 土岐祐一郎, 森 正樹, 永野浩昭 高度脈管侵襲を伴った進行肝細胞癌に対する肝切除を基軸とした治療戦略 シンポジウム

- 14. 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 江口 英利, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 当院における進行胆道癌に対する治療戦略 ディベート
- 15. 丸橋 繁, 和田 浩志, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 濱 直樹, 江口 英利, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 生体肝提供 (ドナー) 肝切除におけるデバイスの工夫と成績 ビデオシンポジウム
- 16. 浅岡 忠史, 富丸 慶人, 友國 晃, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 江口 英利, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 肝内 胆管 癌に対する外科治療 ワークショップ
- 17. 飯田 洋也,海堀 昌樹,田中 肖吾,和田 浩志,廣川 文鋭,權 雅憲,中居 卓也,林 道廣,永野 浩昭,久保 正二 肝炎 ウイルス関連肝内胆管癌に対する術後再発形態の検討 リンパ節廓清の意義 ワークショップ
- 18.飯田 洋也,海堀 昌樹,廣川 文鋭,和田 浩志,木下 正彦,權 雅憲,久保 正二,永野 浩昭,林 道廣,中居 卓也 切除 不能 大腸がん肝転移症例に対するConversion therapyの検討 ミニシンポジウム
- 19.江口 英利, 丸橋 繁, 和田 浩志, 浅岡 忠史, 富丸 慶人, 友國 晃, 川本 弘一, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 2015年版 NCCNガイドラインに即したBorderline resectable膵癌に対する術前化学放射線治療の長期成績 ミニワークショップ
- 20. 富丸 慶人, 信岡 大輔, 丸橋 繁, 三賀森 学, 友國 晃, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 江口 英利, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 八木 孝仁, 永野 浩昭 肝切除における自己集合性ペプチドゲルの止血材としての使用経験 要望演題
- 21.山下 雅史, 和田 浩志, 江口 英利, 日向 聖, 松浦 雄祐, 谷崎 慶子, 山中 千尋, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 10cm以上の大型肝癌に対する外科治療成績 ポスター
- 22. 松浦 雄祐, 和田 浩志, 江口 英利, 日向 聖, 山下 雅史, 谷崎 慶子, 山中 千尋, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 5cm以下の小肝細胞癌における臨床病理学的特徴および肝切除後予後 不良因子に関する検討 ポスター
- 23.飛鳥井 慶, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 術前化学放射線療法施行後の膵癌非切除症例の栄養評価による検 ポスター
- 24. 梶原 淳 , 富丸 慶人, 江口 英利, 友國 晃, 重川 稔, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 森井 英一, 竹原 徹郎, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 滑膜肉腫膵転移の1切除例 ポスター
- 14.大橋 朋史, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 胃管再建による食道癌根治術後に膵頭十二指腸切除術を施行した2例 ポスター
- 15. 三賀森 学, 富丸 慶人, 江口 英利, 友國 晃, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 膵切除により残膵主膵管径の改善を認めたIPMNの2例の検討 ポスター
- 16.小川 久貴, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 膵癌組織における糖代謝酵素Hexokinase II、Pyruvate kinase isoenzyme type M2発現の臨床病理学的意義ポスター
- 17. 畑 知樹, 富丸 慶人, 江口 英利, 友國 晃, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 岩谷 博次, 猪阪 善隆, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 慢性腎不全血液透析患者の肝胆膵外科手術症例の検討 ポスター
- 18.酒井 健司, 和田 浩志, 江口 英利, 富丸 慶人, 友國 晃, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 下大静脈浸潤を伴う大腸癌右副腎転移切除後の局所,肝転移再発に対し人工血管置換再建により治癒切除した1例ポスター
- 19. 大鶴 徹, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 江口 英利, 大須賀 慶吾, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 Budd-Chiari症候群に合併した細胆管細胞癌の1切除例 ポスター
- 20. 佐々木 一樹,富丸 慶人,和田 浩志,友國 晃,浅岡 忠史,川本 弘一,丸橋 繁,江口 英利,土岐 祐一郎,森 正樹,永野 浩昭門脈内腫瘍栓を伴った大腸癌肝転移の1切除例 ポスター
- 21. 向井 洋介, 和田 浩志, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 横隔膜・肺浸潤を伴う巨大肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓療法、ソラフェニブ投与後に肝切除を施行した一例 ポスター
- 22. 富原 英生, 富丸 慶人, 江口 英利, 友國 晃, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 膵癌術前化学放射線療法が術後補助療法に与える影響の検討 ~2パターンの術前化学放射線療法の経験より ポスター
- 23. 種村 匡弘, 古川 健太, 畑 知樹, 江口 英利, 赤松 大樹, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 糖鎖リモデリングによる多様 性癌抗原に対応したユニバーサル膵癌ワクチン療法確立への可能性 ポスター
- 24.山田 晃正, 野田 剛広, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 濱 直樹, 江口 英利, 清水 潤三, 武田 裕, 永野 浩昭, 土岐 祐一郎, 森 正樹; 阪神地区における消化器外科医育成を目的とした多施設共同腹腔鏡下胆嚢摘出術ビデオコンテストの試み ポスター

- 36. 阪本 卓也, 和田 浩志, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 先天性胆道拡張症術後10年以上の経過で発生した胆道癌2症例の検討 ポスター
- 37. 俊山 礼志, 浅岡 忠史, 富丸 慶人, 友國 晃, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 江口 英利, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 ゲムシタビン/シスプラチン/S-1併用化学療法後に根治切除可能となった腹膜播種を伴う肝内胆管癌の1例 ポスター
- 38.長岡 慧, 浅岡 忠史, 富丸 慶人, 友國 晃, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 江口 英利, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 門脈内腫瘍栓の再発を来した混合型肝癌に対して再摘出を施行した1例 ポスター
- 39.日向 聖, 和田 浩志, 江口 英利, 松浦 雄祐, 山下 雅史, 谷崎 慶子, 山中 千尋, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 川本 弘一, 丸橋 繁, 梅下 浩司, 土岐 祐一郎, 森 正樹, 永野 浩昭 当院における非B非C非アルコール性肝細胞癌切除症例の臨床的病理学的特徴 ポスター
- 40.野口 幸蔵, 江口 英利, 友國 晃, 富丸 慶人, 浅岡 忠史, 和田 浩志, 川本 弘一, 丸橋 繁, 森 正樹, 土岐 祐一郎, 永野 浩昭 腎細胞癌術後に孤立性胆嚢転移を来した1例 ポスター
- 41. 永野浩昭 ポスター9 肝臓・肝移植1 座長
- 42. 爲佐卓夫 ポスター54 胆道・乳頭部癌1 座長

### 第40回日本外科系連合学会学術集会 6/18-6/19 東京

- 1. 徳光幸生、吉野茂文、新藤芳太郎、兼清信介、飯田通久、上野富雄、硲彰一YDS による 術後 譫妄 予測と筋 弛緩回復剤 Sugammadex の譫妄予防効果 シンポジウム
- 2. 武田茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、吉野茂文、硲彰一 グルタミン投与による食道癌化学療法患者の消化管毒性予防の検討 ワークショップ
- 3. 中島正夫、上野富雄、兼清信介、来嶋大樹、新藤芳太郎、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、中尾光宏、為佐卓夫、武田茂、山本滋、吉野茂文、硲彰一、岡正朗 当科における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術のピットフォールと対応 ビデオワークショップ

#### 第24回日本癌病態治療研究会 6/25-6/26 栃木

1. 恒富亮一、松隈聰、吉村清、坂本和彦、爲佐卓夫、硲彰一、岡正朗 Cancer-stem like細胞の解析による術後肝内再発抑制に 向けた分子標的の探索 ワークショップ

#### 第23回日本乳癌学会学術総会 7/2-7/4 東京

- 1. 長島 由紀子、安積 達也、岩朝 勤、鶴谷 純司、中川 和彦、前田 和成、前田 訓子、山本 滋、岡 正朗 乳癌 術後 薬物療法施行患者のOOL、副作用軽減、免疫指標に及ぼすLEM の効果に関する臨床研究 厳選口演
- 2. 山本 滋、西山 光郎、北原 正博、井上 由佳、兼清 信介、徳光 幸生、前田 和成、前田 訓子、吉村 清、硲 彰一、岡 正朗 センチネルリンパ節の転移診断におけるソナゾイド造影超音波検査の有用性の検討 厳選口演
- 3. 松隈 美和、古川 又一、松永 尚文、前田 和成、前田 訓子、山本 滋 ダイナミック造影MRIによる乳癌結節内部の造影 形態や辺縁性状の評価:異なる時間分解能での比較検討 ポスター討議
- 4. 前田 訓子、西山 光郎、北原 正博、井上 由佳、徳光 幸生、兼清 信介、前田 和成、山本 滋、硲 彰一 乳癌腫瘍 浸潤リンパ球におけるTim-3 発現および乳癌腫瘍のGalectin-9発現と予後に関する検討 ポスター掲示
- 5. 前田 和成、吉村 清、山本 滋、前田 訓子、井上 由佳、北原 正博、徳光 幸生、兼清 信介、硲 彰一、岡 正朗 HER2陽性乳癌におけるPD-L1の発現と予後についての検討 ポスター掲示
- 6. 中津 宏基、衛藤 隆一、小佐々 博明、清水 良一、高橋 睦夫、前田 和成、山本 滋 区域性拡大し、乳癌を想定させる石灰化を呈した乳腺症の一部に、石灰化を伴わない微小乳癌を合併した一例 e-Poster
- 7. 山本 滋 ポスター討議91 画像 その他③ 座長

### 第69回日本食道学会学術集会 7/2-7/3 横浜

- 1. 兼清信介, 武田 茂, 西山光郎, 北原正博, 吉野茂文, 硲 彰一, 岡 正朗 食道癌術後肺合併症に対するリスク評価(E-PASS の有用性について) ワークショップ
- 2. 吉野茂文, 武田 茂, 兼清信介, 北原正博, 西山光郎, 岡 正朗 食道癌切除後の自動吻合器を用いた安全かつ迅速な食道胃 管吻合 一般演題
- 3. ポスター"
- 4. 武田茂,兼清信介,北原正博,西山光郎,吉野茂文,硲 彰一 食道再建術における術後早期内視鏡検査の有用性についての 検討 一般演題
- 5. ポスター"
- 6. 西山光郎, 兼清信介, 北原正博, 武田茂, 吉野茂文, 硲 彰一 当科における切除不能進行食道癌に対する食道ステントの治療成績 一般演題
- 7. ポスター"
- 8. 北原正博,西山光郎,兼清信介,坂本和彦,武田茂,吉野茂文,岡 正朗 進行食道癌に対する術前補助化学療法が周術期に 与える影響について ポスター"

### 第83回大腸癌研究会 7/3 福岡

1. 井上由佳、硲 彰一、中尾光宏、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 切除可能異時性大腸癌肺転移に対する切除症例 の検討 示説

#### 第19回日本がん免疫学会総会 7/9-7/11 東京

- 1. Shoichi Hazama, Yuka Inoue, Shinsuke kanekiyo, Yoshitaro Shindo, Hiroto Matsui, Masao Nakashima, Nobuaki Suzuki, Ryouichi Tsunedomi, Takao Tamesa, Shigeru Takeda, Tomio Ueno, Shigeru Yamamoto, Yusuke Nakamura, Tomonobu Fujita, Yutaka Kawakami, Hiroaki Nagano A comparison of miRNA expression levels betweem colorectal cancer tissues and normal colorectal tissues of patients treated with peptide vaccine 口頭
- 2. Hiroko Takenouchi, Shoichi Hazama, Yuka Inoue, Shinsuke Kanekiyo, Yoshitaro Shindo, Nobuaki Suzuki, Ryouichi Tsunedomi, Shigefumi Yoshino, Yusuke Nakamura, Kiyotaka Okuno, Fumiaki Sugiura, Tomonobu Fujita, Yutaka Kawakami, Masaaki Oka, Hiroaki Nagano MicroRNA expressions of tumor tissue are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment ポスタープレゼンテーション
- 3. Masao Nakajima, Shoichi Hazama, Yuka Inoue, Hiroto Matsui, Yoshitaro Shindo, Nobuaki Suzuki, Takuo Tamesa, Shigeru Takeda, Tomio Ueno, Shigeru Yamamoto, Shigefumi Yoshino, Tomonobu Fujita, Yutaka Kawakami, Hiroaki Nagano The high lymphocytic infiltration of CD8+ and Foxp3+ Tcell associates with good prognosis in patients with respectable colon cancer ポスタープレゼンテーション

### 第37回日本癌局所療法研究会 7/10 千葉

- 1. 中島正夫、上野富雄、飯田通久、新藤芳太郎、鈴木伸明、松井洋人、坂本和彦、為佐卓夫、徳久善弘、徳光幸生、松隈 聰、 吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 膵癌根治術後の異時性肺転移に対する肺切除の意義 主題
- 2. 太田啓介、徳久善弘、為佐卓夫、中島正夫、松隈 聰、徳光幸生、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、 永野浩昭 高度門脈内腫瘍栓 (Vp4) を伴うHCCに対し集学的治療を行った一例 一般演題
- 3. 古谷 圭、徳光幸生、吉野茂文、井上由佳、飯田通久、為佐卓夫、武田 茂、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 直腸癌壁内転 移と鑑別を要した粘膜下腫瘍様胃癌の1例 一般演題
- 4. 兼定 航、北原正博、武田 茂、西山光郎、兼清信介、為佐卓夫、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 胃全摘術後食 道裂孔ヘルニアに対しメッシュ修復術を施行した1例 一般演題
- 5. 鈴木伸明、上野富雄、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、為佐卓夫、武田 茂、 長谷川博康、澁谷景子、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 集学的治療によりCRが得られた膵腺扁平上皮癌の1例 一般演題
- 6. 向井洋介、和田浩志、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 巨大肝細胞癌・肺浸潤に対しソラフェニブ投与後に切除し得た一例 主題関連演題
- 7. 長岡 慧、浅岡忠史、富丸慶人、友國 晃、和田浩志、川本弘一、丸橋 繁、江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、 永野浩昭 化学療法が著効した傍大動脈リンパ節転移を伴う胆管癌の1切除例 一般演題

- 8. 俊山礼志、浅岡忠史、富丸慶人、友國 晃、和田浩志、川本弘一、丸橋 繁、江口英利、梅下浩司、永野浩昭、土岐祐一郎、 森 正樹 化学療法後に切除可能となった腹膜播種を伴う肝内胆管癌の1例 一般演題
- 9. 佐々木一樹、富丸慶人、和田浩志、友國 晃、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、江口英利、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹門脈内腫瘍栓を伴った直腸癌肝転移の1切除例 一般演題
- 10. 酒井健司、和田浩志、江口英利、富丸慶人、友國 晃、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 大腸癌右副腎転移切除後IVC浸潤局所肝転移再発巣治癒切除の一例 一般演題
- 11.野口幸蔵、富丸慶人、江口英利、友國 晃、浅岡忠史、和田浩志、川本弘一、丸橋 繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 残膵全摘を施行した膵異時性多発癌の3例 一般演題

#### 第18回日本高齢消化器病学会総会 7/10-7/11 島根

- 1. 徳光幸生、吉野茂文、藤本拓也、田中宏典、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、爲佐卓夫、武田茂、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 当科における高齢者消化器外科手術後の譫妄予測と新規筋弛緩回復剤Sugammadexの譫妄予防効果 シンポジウム
- 2. 西山光郎、吉野茂文、武田 茂、原田耕志、北原正博、兼清信介、爲佐卓夫、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 高齢者食道癌 における術前口腔ケアの検討 パネルディスカッション
- 3. 藤本拓也、吉野茂文、徳光幸生、新藤芳太郎、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、為佐卓夫、武田 茂、上野富雄、硲 彰一、 永野浩昭 高齢者肝切除における術前認知機能と肝機能評価を用いた術後譫妄予測 一般演題

#### 第70回日本消化器外科学会総会 7/15-7/17 静岡

- 1. 永野浩昭、丸橋 繁、和田浩志、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹 脳死肝移植 における施行症例と待機症例に関する検討 ワークショップ
- 2. 日向聖、和田浩志、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、丸橋 繁、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 肝細胞癌における癌幹細胞(CSC) マーカーと上皮間葉転換(EMT) 関連転写因子の腫瘍栓での発現に関する検討 一般演題
- 3. 野口幸藏、江口英利、富丸慶人、友國 晃、和田浩志、浅岡忠史、丸橋 繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 切除可能膵 癌に対する術前化学放射線療法が術後合併症に及ぼす影響 一般演題
- 4. 飛鳥井慶、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、和田浩志、丸橋 繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 術前化学放射線療法施行後に非切除となった膵癌症例の検討 一般演題
- 5. 三賀森学、江口英利、富丸慶人、浅岡忠史、和田浩志、川本弘一、丸橋 繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 低酸素下に おける膵癌細胞由来エクソソームが癌細胞の悪性度に与える影響 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 6. 富原英生、富丸慶人、江口英利、友國 晃、浅岡忠史、和田浩志、丸橋繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 術前化学放射 線治療後の膵癌切除標本における膵癌幹細胞マーカーc-Met の発現解析 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 7. 飯田洋也、海堀昌樹、田中肖吾、和田浩志、廣川文鋭、中居卓也、林 道廣、權雅 憲、永野浩昭、久保正二 ウイルス関連 肝内胆管癌の術後再発形態についての検討(リンパ節郭清は必要か?) パネルディスカッション
- 8. 松浦雄祐、和田浩志、江口英利、友國晃、富丸慶人、浅岡忠史、丸橋 繁、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 低酸素培養下での肝癌細胞由来エクソソームが腫瘍細胞に与える影響 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 9. 山下雅史、和田浩志、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、丸橋繁、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 CD13 阻害薬 (ウベニメクス) 併用による癌幹細胞を標的とした新規治療法確立に向けた基礎的検討 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 10. 阪本卓也、小林省吾、和田浩志、浅岡忠史、川本弘一、丸橋 繁、江口英利、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 胆道癌にお けるHDAC 阻害剤を用いたSMAD4 核内移行の制御 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 11. 大橋朋史、富丸慶人、江口英利、友國 晃、浅岡忠史、和田浩志、丸橋繁、永野浩昭、森 正樹、土岐祐一郎 主膵管拡張を 伴った膵IPMN における病変の範囲と主膵管拡張部位との関連性の検討 "一般演題 (ミニオーラル)"
- 12. 浅岡忠史、富丸慶人、友國 晃、和田浩志、川本弘一、丸橋 繁、江口英利、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭 肝内胆管癌 に対するリンパ節郭清の意義 企画関連口演
- 13. 富丸慶人、永野浩昭、丸橋 繁、友國晃、浅岡忠史、和田浩志、川本弘一、江口英利、土岐祐一郎、森 正樹 教室における 腹腔鏡下肝切除術の取り組み 企画関連口演

- 14. 和田浩志、永野浩昭、江口英利、友國 晃、富丸慶人、浅岡忠史、川本弘一、丸橋繁、土岐祐一郎、森 正樹 下大静脈〜右 心房に達する高度脈管侵襲を伴った進行肝癌に対する肝切除術 企画関連口演
- 15. 上西崇弘、山本隆嗣、竹村茂一、永野浩昭、丸橋 繁、林 道廣、廣川文鋭、海堀昌樹、松井康輔、久保正二 肝硬変を背景 に発生した腫瘤形成型肝内胆管癌切除例の検討 一般演題 (ミニオーラル)"
- 16. 武田 茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 腔内牽引器を用いた腹臥位胸腔鏡下食道切除術 要望演題
- 17. 徳光幸生、飯塚徳男、爲佐卓夫、松隈聰、徳久善弘、坂本和彦、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 肝細胞癌根治切除術後患者における新規予後予測システム 一般演題
- 18. 西山光郎、武田 茂、北原正博、兼清信介、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 食道胃接合部癌手術症例の至適郭清 範囲の検討 一般演題
- 19. 田中宏典、井上由佳、中尾光宏、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 潰瘍性大腸炎に対する外 科治療の変遷 一般演題
- 20. 来嶋大樹、硲 彰一、西山光朗、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、中尾光宏、吉野茂文、岡 正朗 高齢者大腸 癌手術における安全性の検討 一般演題
- 21. 硲 彰一、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、中尾光宏、鈴木伸明、吉野茂文、中村祐輔、河上 裕、岡 正朗 Development of Next Generation Peptide Vaccine Therapy against Colorectal Cancer from Japan シンポジウム
- 22. 吉野茂文、飯田通久、松井洋人、上野富雄、武田茂、鈴木伸明、硲彰一、岡正朗 ロボット支援幽門側胃切除術における膵に 愛護的なリンパ節郭清 要望演題
- 23. 井上由佳、硲彰一、兼清信介、新藤芳太郎、中尾光宏、吉野茂文、岡正朗 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘・回腸 嚢肛門管吻合術 要望演題
- 24. 藤本拓也、吉野茂文、飯田通久、鈴木伸明、武田茂、上野富雄、山本滋、硲彰一、岡正朗 体上部小彎の早期胃癌に対する LADG Billroth-I 法再建におけるhemi-double stapling method の応用 一般演題
- 25. 松隈聰、爲佐卓夫、中島正夫、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、上野富雄、吉野茂文、硲彰一、岡正朗 胆嚢牽引法による肝門部前区域グリソン鞘到達を応用したS5/S8 亜区域切除 要望演題
- 26. 飯田通久、吉野茂文、武田 茂、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 幽門側胃切除術後残胃癌の臨床病理学的特徴とその治療戦略 要望演題
- 27. 中尾光宏、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 ブタ小腸粘膜下層(SIS) を用いた小腸再生伸長術の評価 一般演題
- 28. 恒富亮一、硲 彰一、岡山直子、岡 正朗 Exome 解析による新たなイリノテカン副作用関連variant の網羅的探索及び同定 ー船湾題
- 29. 鈴木伸明、上野富雄、松井洋人、新藤芳太郎、飯田通久、坂本和彦、為佐卓夫、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 膵管内乳頭 粘液性腫瘍(IPMN) の臨床病理学的検討による至適術式の選択 要望演題
- 30. 坂本和彦、武田 茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、硲 彰一、岡 正朗 食道癌化学療法の有害事象とサイトカイン遺伝 子多型との関連 一般演題
- 31. 北原正博、西山光郎、兼清信介、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 高齢者における胸部食道癌切除術症例の検討 亜切溶師
- 32. 兼清信介、武田 茂、西山光郎、北原正博、吉野茂文、硲 彰一、岡 正朗 胃管内腔内アンビル装着法による食道癌食道胃 管吻合の工夫 企画関連口演
- 33. 新藤芳太郎、吉野茂文、来嶋大樹、松隈 聡、徳光幸生、中尾光宏、飯田通久、坂本和彦、硲 彰一、岡 正朗 胃癌手術における左副肝動脈切離の術後肝機能への影響 一般演題
- 34. 徳久善弘、爲佐卓夫、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、上野富雄、硲 彰一、岡 正朗 門脈塞栓症例 に対して体重を考慮した肝機能評価の検討 一般演題
- 35. 上野富雄、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、松井洋人、徳久善弘、爲佐卓夫、坂本和彦、硲 彰一、岡 正朗 吻合補助器 を用いた主膵管貫通式縫合糸留置法とpush & pull technique によるロストステント留置の工夫 要望演題
- 36. 吉野茂文 高齢者における術後せん妄対策 ランチョンセミナー
- 37. 永野浩昭 [WS-10-3] ワークショップ10-3: 消化器外科領域における基礎研究-3- 司会
- 38. 硲 彰一 [SY-15] シンポジウム15: 直腸外科領域における手術手技の工夫(ビデオ) 司会
- 39. 吉野茂文 [RS-40] 要望演題40: 胃癌手術におけるリンパ節郭清 (ビデオ) 5 座長

#### 第51回日本肝癌研究会 7/23-7/24 神戸

- 1. 和田浩志, 江口英利, 富丸慶人, 友國 晃, 浅岡忠史, 川本弘一, 丸橋 繁, 梅下浩司, 永野浩昭, 土岐祐一郎, 森 正樹 肉眼 的脈管侵襲や遠隔転移を伴った進行肝細胞癌 (BCLC advanced stage) に対する肝切除術の適応 シンポジウム
- 2. 坂本和彦, 爲佐卓夫, 上野富雄, 中島正夫, 松隈 聰, 徳光幸生, 徳久善弘, 武田茂, 吉野茂文, 硲 彰一, 永野浩昭 組織学的 脈管侵襲を伴う肝細胞癌の危険因子と治療方針 一般演題
- 3. 松浦雄祐,和田浩志,江口英利,日向 聖,山下雅史,谷崎慶子,山中千尋,友國 晃,富丸慶人,浅岡忠史,川本弘一, 丸橋 繁,梅下浩司,土岐祐一郎,森正樹,永野浩昭 小肝細胞癌(5 c m以下)における臨床病理学的特徴および肝切除後 予後不良因子に関する検討 一般演題
- 4. 富丸慶人, 丸橋 繁, 和田浩志, 友國 晃, 浅岡忠史, 川本弘一, 江口英利, 梅下浩司, 土岐祐一郎, 森 正樹, 永野浩昭 肝切除術前予備能評価においてICG検査は全例において必須か? 一般演題
- 5. 徳久善弘, 爲佐卓夫, 坂本和彦, 中島正夫, 松隈 聰, 徳光幸生, 武田 茂, 上野富雄, 吉野茂文, 硲 彰一, 永野浩昭 側副血 行路を有する高度門脈腫瘍栓 (Vp4) に対する肝切除術 ビデオセッション
- 6. 松隈 聰,爲佐卓夫,田辺昌寛,上田高顕,中尾 聖,中島正夫,徳光幸生,徳久善弘,坂本和彦,武田 茂,上野富雄, 吉野茂文,硲 彰一,松永尚文,永野浩昭 MRIを用いた肝細胞癌悪性度予測の試み 一般演題
- 7. 徳光幸生, 為佐卓夫, 上野富雄, 中島正夫, 松隈 聰, 徳久善弘, 坂本和彦, 武田 茂, 吉野茂文, 硲 彰一, 飯塚徳男, 永野浩昭 肝細胞癌術後患者における新たな予後予測システム 一般演題
- 8. 日向 聖,和田浩志,江口英利,松浦雄祐,山下雅史,谷崎慶子,山中千尋,友國 晃,富丸慶人,浅岡忠史,川本弘一, 丸橋 繁,梅下浩司,永野浩昭,土岐祐一郎,森 正樹 非B非C非アルコール性肝細胞癌の手術成績と臨床的病理学的因子の検 討 一般演題
- 9. 中島正夫,為佐卓夫,坂本和彦,徳久善弘,徳光幸生,松隈 聰,武田 茂,上野富雄,吉野茂文,硲 彰一,永野浩昭 MRI拡 散強調画像で悪性腫瘍と鑑別しえた肝硬化性血管腫:症例報告 一般演題
- 10. 永野浩昭 ワークショップ5 肝癌に対する動注療法の位置づけ 司会

#### 第57回日本平滑筋学会総会 8/25-8/27 山口

1. 藤本拓也、上野富雄、中尾光宏、中津宏基、西村 拓、来嶋大樹、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 ブタ小腸粘膜下組織(small intestinal submucosa:SIS)を用いた消化管平滑筋再生 一般演題

#### 第42回日本膵切研究会 8/28-8/29 大阪

- 1. 新藤芳太郎、上野富雄、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、飯田通久、藤本拓也、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、爲佐卓夫、 武田 茂、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 膵体尾部切除術における膵断端処理の工夫 ポスター
- 2. 松井洋人、上野富雄、爲佐卓夫、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、武田 茂、 吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 後期高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の安全性についての検討 ポスター
- 3. 上野富雄、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、松井洋人、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、爲佐卓夫、武田茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 当科における膵頭十二指腸切除術の術後合併症を低減するための方策の変遷と現状ポスター
- 4. 鈴木伸明、上野富雄、藤本拓也、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、為佐卓夫、 武田 茂、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の臨床病理学的検討による至適術式の 選択 ポスター
- 5. 上野富雄 ポスター7 膵瘻2 司会

#### 第51回日本胆道学会学術集会 9/17-9/18 栃木

1. 山田大作、Gregory Gores、江口英利、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 胆道癌におけるYAP発現とその役割 一般演題

#### 第51回日本移植学会総会 10/1-10/3 熊本

- 1. 和田浩志、江口英利、野田剛広、小川久貴、山田大作、浅岡忠史、後藤邦仁、川本弘一、丸橋 繁、梅下浩司、永野浩昭、 土岐祐一郎、森 正樹 肝移植後HCVウイルス排除を目指した治療戦略 一般演題
- 2. 永野浩昭 イブニングセミナー プロトコール生検の必要性について考える 座長

#### 第74回日本癌学会学術集会 10/8-10/10 名古屋

- 1. 松隈 聰、吉村 清、渡邊裕策、恒富亮一、井上萌子、近藤(古屋)智子、小賀厚徳、上野富雄、吉野茂文、硲 彰一、 伊藤浩史、永野浩昭 一般演題
- 2. 恒富亮一、吉村 清、硲 彰一、岡 正朗、永野浩昭 肝細胞癌幹細胞様Sphere細胞における抗酸化能亢進及びHIF1制御下遺 伝子発現亢進 一般演題
- 3. 中島正夫、硲 彰一、井上由佳、松井洋人、新藤芳太郎、為佐卓夫、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、 永野浩昭 腫瘍部におけるCD8+ およびFoxp3+リンパ球低浸潤が大腸癌の予後不良因子である ポスターセッション
- 4. 飯田通久、硲 彰一、恒富亮一、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、河上 裕、永野浩昭 大腸がん間質における miR221/222 の発現 ポスターセッション
- 5. 硲 彰一、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、鈴木伸明、爲佐卓夫、恒富亮一、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、中村祐輔、河上 裕、永野浩昭 進行大腸がんに対するペプチド療法の有効性を予測するmicroRNAの探索 一般演題

#### JDDW2015 第23回日本消化器関連学会週間 10/8-10/11 東京

- 1. 武田 茂、吉野茂文、兼清信介、北原正博、西山光郎、為佐卓夫、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 食道癌術後早期内視鏡検 査の有用性についての検討 ポスターセッション
- 2. 吉野茂文、飯田通久、武田 茂、上野富雄、為佐卓夫、松井洋人、硲 彰一、永野浩昭 当科におけるロボット支援幽門側胃 切除術と腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の短期臨床成績の比較検討 ポスターセッション
- 3. 金井雅史、永野浩昭、井岡達也 切除不能胆道癌に対するgemcitabine/cisplatin/S-1(GCS)併用療法の可能性 パネルディス カッション
- 4. 松井洋人、上野富雄、爲佐卓夫、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、武田 茂、 吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 後期高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の安全性についての検討 ポスターセッション
- 5. 鈴木伸明、上野富雄、中島正夫、藤本拓也、松隈 聰、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、 為佐卓夫、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 当科における膵頭十二指腸切除術後再建法の検 ポスターセッション
- 6. 上野富雄、爲佐卓夫、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、松井洋人、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、 武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 特許化した吻合補助器を用いた膵管空腸吻合法 デジタルポスターセッション
- 7. 徳光幸生、爲佐卓夫、上野富雄、中島正夫、松隈 聰、徳久善弘、坂本和彦、武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、飯塚徳男、 永野浩昭 肝細胞癌根治切除術後患者における新規予測システム ポスターセッション
- 8. 新藤芳太郎、上野富雄、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、飯田通久、藤本拓也、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、爲佐卓夫、 武田茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 膵尾側切除術における膵液瘻防止のための工夫 ポスターセッション
- 9. 永野浩昭 デジタルポスターセッション 原発性肝癌 外科切除・肝移植 座長
- 10. 硲 彰一 デジタルポスターセッション 大腸-鏡視下手術 (悪性) 1 座長
- 11. 永野浩昭 デジタルポスターセッション 肝臓 補助化学療法など 座長

### 第53回日本癌治療学会学術集会 10/29-10/31 大阪

- 1. 前田訓子、山本 滋、西山光郎、北原正博、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、筒井理仁、永野浩昭 HER2陽性乳癌における術 後補助TCbH (Docetaxel+Carboplatin+Trastuzumab) 療法の経験 ワークショップ
- 2. 山本 滋、前田訓子、長島由紀子、前田和成、久保秀文、松井洋人、井上由佳、新藤芳太郎、筒井理仁、永野浩昭 転移・ 再発乳癌に対する低用量アブラキサンの治療継続性を検討する第 II 相試験 ワークショップ
- 3. 筒井理仁、山本 滋、田中宏典、西山光郎、来嶋大樹、松井洋人、井上由佳、北原正博、兼清信介、徳光幸生、前田訓子、永野浩昭 標準化を目指した乳腺円状部分切除後の乳腺・脂肪弁を用いた欠損部補填法の合併症 ワークショップ
- 4. 硲 彰一、井上由佳、新藤芳太郎、鈴木伸明、松井洋人、坂本和彦、爲佐卓夫、武田 茂、上野富雄、山本 茂、吉野茂文、 杉浦史哲、奥野清隆、河上裕、永野浩昭 大腸癌ペプチドワクチン療法における負の免疫機構の解明と新たな複合免疫療法の 開発 ワークショップ
- 5. 鈴木伸明、硲 彰一、松枝智子、竹之内寛子、為佐卓夫、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、中村祐輔、河上 裕、 伊東恭悟、永野浩昭 進行再発大腸癌に対するmFOLFOX6とペプチド併用療法における血中抗ペプチド抗体の解析 ワーク ショップ
- 6. 和田浩志、江口英利、小川久貴、山田大作、富丸慶人、友國 晃、野田剛広、浅岡忠史、川本弘一、後藤邦仁、丸橋 繁、梅下浩司、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹 下大静脈・右房内に腫瘍栓を伴った高度進行肝細胞癌に対する肝切除術 ワークショップ

- 7. 吉野茂文、西村 拓、坂田晃一朗、吉田 晋、古谷卓三、河岡 徹、山本達人、飯田通久、鈴木伸明、爲佐卓夫、武田 茂、 上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 切除不能・再発胃癌に対するS-1隔日投与+レンチナン併用療法の第II 相臨床試験 ポスター
- 8. 恒富亮一、硲彰一、岡山直子、岡正朗、永野浩昭 新たなイリノテカン副作用関連variantのゲノム網羅的解析による同定 プレナリーセッション (最優秀演題講演)
- 9. 中島正夫、上野富雄、為佐卓夫、飯田通久、新藤芳太郎、坂本和彦、鈴木伸明、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、 武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 cT2胆嚢癌に対する至適リンパ節郭清に関する検討 ポスター
- 10. 硲 彰一 ワークショップ (WS) 80 大腸 11: 大腸がん手術療法の多様な視点 (2) 座長

#### 第70回日本大腸肛門病学会学術集会 11/13-11/14 名古屋

- 1. 井上由佳、硲 彰一、永野浩昭 高齢者にも安全,かつ根治性の高い腹腔鏡下直腸固定術 要望演題
- 2. 硲 彰一、井上由佳、永野浩昭 下部直腸癌に対する鏡視下側方リンパ節郭清術〜自律神経非温存拡大郭清の手技 一般演題

#### 第26回日本消化器癌発生学会総会 11/19-11/20 鳥取

- 1. 飯田通久、硲 彰一、恒富亮一、井上由佳、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、為佐卓夫、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、 永野浩昭 癌間質におけるmiR221およびmiR222発現は大腸癌の悪性度と相関する 一般演題
- 2. 恒富亮一、松隈聰、西山光郎、硲 彰一、岡 正朗、永野浩昭 肝転移能亢進を示す癌幹細胞様細胞における分子標的の探索 一般演題

#### 第9回肝臓内視鏡外科研究会 11/25 福岡

- 1. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈 聰、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、武田茂、上野富雄、永野浩昭 当科における 肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の手術成績 一般演題
- 2. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、上野富雄、永野浩昭 大腸癌肝転移に対する 腹腔鏡下肝切除の検討 一般演題

#### 第77回日本臨床外科学会総会 11/26-11/28 福岡

- 1. 中島正夫、硲 彰一、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、北原正博、来嶋大樹、西山光郎、鈴木伸明、武田 茂、山本 滋、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 当科における下部直腸癌に対する鏡視下側方リンパ節郭清術の手技および成績 ビデオシンポジウム
- 2. 飯田通久、吉野茂文、西山光郎、北原正博、井上由佳、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、為佐卓夫、武田 茂、上野富雄、山本 滋、硲 彰一、永野浩昭 安全かつ迅速なhemi-double stapling methodによる幽門側胃切除後B-I 再建の 短期および長期成績 ビデオシンポジウム
- 3. 井上由佳、硲 彰一、中島正夫、田中宏典、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、鈴木伸明、坂本和彦、為佐卓夫、武田 茂、 上野富雄、山本 滋、吉野茂文、永野浩昭 当科における腹腔鏡下直腸固定術の術式と成績 ワークショップ
- 4. 硲 彰一、井上由佳、兼清信介、中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、田中宏典、鈴木伸明、坂本和彦、爲佐卓夫、 武田 茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 腹腔鏡下直腸癌前方切除術におけるmodified-double stapling technique の手技 とコツ ワークショップ
- 5. 武田茂、吉野茂文、兼清信介、北原正博、西山光郎、為佐卓夫、上野富雄、山本滋、硲彰一、永野浩昭 当科における胸腔鏡 下食道切除術の術野展開の工夫 ビデオワークショップ
- 6. 徳久善弘、坂本和彦、爲佐卓夫、徳光幸生、松隈 聰、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、 山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 当科における腹腔鏡下肝切除の手術成績 主題関連演題
- 7. 上野富雄、鈴木伸明、飯田通久、新藤芳太郎、松井洋人、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、爲佐卓夫、 武田 茂、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 特許化した吻合補助器を用いた主膵管貫通式縫合糸留置法による膵管空腸吻合 主題関連演題
- 8. 吉野茂文、飯田通久、松井洋人、武田 茂、上野富雄、為佐卓夫、硲彰一、永野浩昭 膵に愛護的なリンパ節郭清が可能なロボット支援幽門側胃切除術 主題関連演題

- 9. 鈴木伸明、上野富雄、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、為佐卓夫、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 膵IPMNの臨床病理ならびに至適術式の検討 主題関連演題
- 10. 兼清信介、武田 茂、西山光郎、北原正博、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 当科における食道癌術中 反回神経モニタリングの経験 要望演題 (ビデオ)
- 12. 徳久晃弘、上野富雄、新藤芳太郎、田中宏典、兼清信介、為佐卓夫、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 腸間膜脂肪織炎との鑑別に苦慮した悪性腹膜中皮腫の1例 一般演題
- 13. 千々松日香里、上野富雄、松井洋人、中尾光宏、為佐卓夫、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 Nuck管水腫の診断および治療にMRI が有用であった一例 一般演題
- 14. 永野浩昭 主題関連演題 67. 膵IPMNの手術適応と術式1 座長

#### 第28回日本外科感染症学会総会 12/2-12/3 名古屋

- 1. 松隈 聰、坂本和彦、武田 茂、松本 聡、古谷裕美、敷地恭子、爲佐卓夫、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、硲 彰一、 永野浩昭 当科におけるESBL産生菌感染症の現状と課題シンポジウム
- 2. 武田 茂、吉野茂文、坂本和彦、兼清信介、北原正博、西山光郎、上野富雄、山本滋、硲 彰一、永野浩昭 食道癌術後縫合 不全における術後早期内視鏡検査の有用性 シンポジウム
- 3. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈 聰、新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、爲佐卓夫、武田 茂、上野富雄、 山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 待機的肝切除患者における鼻腔内MRSA保菌と術後MRSA感染菌との関係 一般口演

#### 第28回日本バイオセラピィ学会学術集会総会 12/3-12/4 埼玉

- 1. 硲 彰一、井上由佳、新藤芳太郎、鈴木伸明、松井洋人、中島正夫、竹之内寛子、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、山本 滋、 吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、藤田知信、河上裕、玉田耕治、永野浩昭 大腸癌ペプチドワクチン療法における慢性炎症病 態の解析と新たな複合免疫療法の構築 シンポジウム
- 2. 硲 彰一 次世代型がんペプチドワクチンの開発と展望 ランチョンセミナー
- 3. 中島正夫、硲 彰一、新藤芳太郎、竹之内寛子、井上由佳、松井洋人、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 進行再発大腸癌に対するペプチドワクチン療法の効果予測マーカーに関する検討―リンパ球 表面抗原の解析― ワークショップ
- 4. 竹之内寛子、松枝智子、硲 彰一、田中浩明、前田 清、平川弘聖、田原 浩、杉浦史哲、奥野清隆、吉松和彦、井上由佳、 新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、伊東恭吾、永野浩昭 投与ペプチドに対する血中抗体の 誘導と予後解析〜進行再発大腸がんに対するペプチドワクチン療法〜 要望演題
- 5. 松井洋人、硲 彰一、中島正夫、松隈 聰、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、 武田 茂、山本 滋、吉野茂文、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 膵癌術後補助療法としてのGEM併用MUC1-CTL療法の治療 成績と免疫抑制性細胞の検討 要望演題
- 6. 井上由佳、硲 彰一、竹之内寛子、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、武田茂、上野富雄、山本 滋、吉野茂文、田中浩明、杉浦史哲、奥野清隆、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 化学療法が癌免疫療法におよぼす影響の検討〜進行再発大 腸癌に対するFOLFOX+ペプチド療法の結果から〜 要望演題
- 7. 鈴木伸明、硲 彰一、上野富雄、田中浩明、有賀 淳、石崎秀信、藤原俊義、吉松和彦、松井洋人、井上由佳、新藤芳太郎、竹之内寛子、飯田通久、坂本和彦、武田 茂、山本 滋、吉野茂文、岡 正朗、永野浩昭 切除不能・再発膵癌に対する標準 治療+新規ペプチドワクチン療法第 I/II 相試験におけるCTL誘導と効果の解析 ワークショップ
- 8. 新藤芳太郎、硲 彰一、鈴木伸明、竹之内寛子、中島正夫、井上由佳、松井洋人、武田 茂、上野富雄、吉野茂文、田中浩明、 有賀 淳、石崎秀信、楳田祐三、島田光生、吉松和彦、奥野清隆、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 切除不能・再発膵癌に対 するペプチドワクチン療法の効果を予測するバイオマーカーの探索 一般演題
- 9. 吉野茂文、硲 彰一、鈴木伸明、新藤芳太郎、井上由佳、松井洋人、岡山直子、武田茂、上野富雄、山本 滋、永野浩昭 PSKによる大腸癌術後補助免疫療法におけるIL-10の遺伝子多型とサイトカイン産生量の検討 一般演題
- 10. 吉野茂文 要望演題1 がんワクチン療法の今を知る 座長
- 11. 永野浩昭 要望演題2 化学療法と免疫療法 座長
- 12. 鈴木伸明 要望演題3 免疫療法の効果増強 座長

#### 第28回日本内視鏡外科学会総会 12/10-12/12 大阪

- 1. 丸橋 繁、永野浩昭、後藤邦仁、和田浩志、浅岡忠史、野田剛広、富丸慶人、友國 晃、山田大作、江口英利、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹 生体肝ドナー手術におけるハイブリッド手技の導入と成績 シンポジウム
- 2. 徳光幸生、坂本和彦、中島正夫、松隈聰、新藤芳太郎、松井洋人、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、為佐卓夫、上野富雄、 吉野茂文、硲 彰一、永野浩昭 完全鏡視下肝部分切除におけるエネルギーデバイスの変遷と工夫 パネルディスカッション
- 4. 鈴木伸明、硲 彰一、井上由佳、兼清信介、中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、田中宏典、坂本和彦、為佐卓夫、 武田 茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 鏡視下脾弯部大腸癌手術における剥離ラインとリンパ節郭清範囲の定型化 一般演題
- 5. 飯田通久、吉野茂文、西山光郎、松井洋人、北原正博、井上由佳、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、為佐卓夫、 武田 茂、上野富雄、硲 彰一、永野浩昭 当科における腹腔鏡補助下幽門側胃切除術D2 郭清の成績 一般演題
- 6. 井上由佳、硲 彰一、中島正夫、田中宏典、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、鈴木伸明、坂本和彦、武田 茂、上野富雄、 山本 滋、吉野茂文、永野浩昭 当科における進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績 一般演題
- 7. 硲 彰一、井上由佳、兼清信介、中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、田中宏典、鈴木伸明、坂本和彦、爲佐卓夫、 武田茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 下部直腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内(側方) リンパ節郭清のコツ 一般演題
- 8. 永野浩昭 シンポジウム17 肝臓移植における内視鏡手術の適応とその役割 司会
- 9. 硲 彰一 一般演題289 横行結腸2 司会

#### 第7回膵臓内視鏡外科研究会 12/13 京都

- 1. 新藤芳太郎、上野富雄、坂本和彦、藤本拓也、松隈 聰、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、永野浩昭 当科における腹腔鏡下 膵体尾部切除術の工夫と成績 一般演題
- 2. 永野浩昭 一般演題① 腹腔鏡下膵切除術:イノベーション 座長

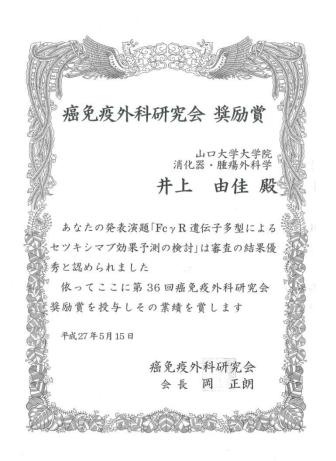
## 研究費取得状況

———— 種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	飯田 通久	代表	1,100,000	肝細胞癌における新規バイオバイオマーカーMCM6の解析
科研費	基盤研究(C)	坂本 和彦	代表	1,200,000	サイトカイン遺伝子多型に基づいた化学療法副作用の予測システムの開 発
科研費	基盤研究(C)	吉野 茂文	代表	1,300,000	バイオマーカーによる胃癌化学療法の効果予測―SPARCの発現および多型による検討
科研費	基盤研究(C)	上野 富雄	代表	1,200,000	小腸再生伸長術の前臨床研究
科研費	基盤研究(C)	武田茂	代表	1,400,000	Diamine Oxidase(DAO)の遺伝子多型と化学療法の消化管毒性
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	代表	1,400,000	形質転換と階層的複製能よりみた治療抵抗性肝癌に対する個別化治療に ついての研究
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	1,200,000	臨床膵島移植の成績を改善するための次世代ストラテジーを用いた包括 的研究
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	900,000	肝移植における抗ドナー特異抗体産生意義の解明と個別化免疫療法の探 求
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	1,200,000	膵癌の癌細胞-癌間質におけるmicroRNA相互作用の解明と薬剤耐性克服 法の構築
厚労科研	. 感染症実用化 研究	永野浩昭	分担	1,500,000	モデル動物等を用いたHCV感染病態と関連する 宿主・ウイルス因子の解析解析と新規治療法の開発に関する研究
厚労科研	. 感染症実用化 研究	永野浩昭	分担	300,000	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化
AMED	次世代がん研究	硲 彰一	代表	60,000,000	オンコアンチゲン由来ペプチドワクチンにおけるバイオマーカーの検証 と治療戦略の構築
科研費	挑戦的萌芽研究	岡 正朗	分担	1,200,000	肝細胞癌HSP70のHLA Class Iに対する peptideの同定
科研費	若手研究(B)	恒富 亮一	代表	900,000	低分化型細胞株から独自方法で誘導した浮遊細胞塊の解析による癌幹細胞治療標的の検討
科研費	若手研究(B)	前田訓子	代表	1,200,000	乳癌におけるGalectin-9/Tim-3の発現と臨床病理学的因子の検討
科研費	若手研究(B)	井上由佳	代表	1,800,000	Cetuximab加療後大腸癌のNGSを用いた腫瘍浸潤リンパ球のTCR解析

## 業績その他

#### 2015年 表彰

- 1. 第36回癌免疫外科研究会 奨励賞 FcyR遺伝子多型によるセツキシマブ効果予測の検討 井上由佳
- 2. 第53回日本癌治療学会学術集会 最優秀演題賞 新たなイリノテカン副作用関連variantのゲノム網羅的解析による同定 恒富亮





## 業績その他

### 2015 メディア

1. 週刊文春 2015年8月13日「特集:本当に手術の巧いがん外科医リスト」

永野浩昭

永野浩昭

2. FM山口2015年8月18日FMラジオ「メディカルやまぐち」

3. 朝日新聞 2015年8月28日特集「肝臓がん」 永野浩昭

4. 週刊現代 2015年12月1日 がん治療「人間として」信頼できる医師100人 永野浩昭

5. 朝日新聞 肝胆膵領域がん 高何度手術で治療成績向上に挑む









## 研究者発表会議 **記**録 2015.05.02

	午前の部(9:00-12-40)			
	司会: 硲彰一			
松隈 聰	Calreticulin is highly expressed in pancreatic cancer stem like cells and related to the poor prognosis of pancreatic cancer patients.			
北原正博	Prediction of susceptibility to anticancer agents by measuring the integrity of cell-free DNA circulating in the blood in patients with colorectal cancer			
鈴木伸明	The recent report of VENUS-PC study			
飯田通久	Investigation of microRNA and the corresponding gene expression that regulate liver metastasis in colorectal cancer.			
田中宏典	miR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer			
来嶋大樹	Predictive biomarkers for the efficacy of vaccine treatment for colorectal cancer			
新藤芳太郎	PD-1 blockade enhances antitumor efficacy in the mouse colitis-associated colon cancer model			
井上由佳	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti - EGFR antibody.			
硲 彰一	New biomarkers for the efficacy of immunotherapy			
坂本和彦	Prediction of toxicities of 5FU plus CDDP chemotherapy using cytokine gene polymorphisms			
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application			
兼清信介	Clinical Significance of Secreted Protein Acid and Rich in Cystein(SPARC) in Esophageal Cancer			
	午後の部(13:30-17:20)			
	司会:吉野茂文			
中島正夫	①Novel immunotherapy against colon cancer using Chimeric Antigen Receptor T cell (CART)			
小面正人	②SPARC and gastric cancer			
西山光朗	①Cancer Stem-like Sphere Cells Induced from De-differentiated Hepatocellular Carcinoma-derived Cell lines Exerts Liver Metastatic Potential			
	② Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer			
為佐卓夫	Adjuvant Immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA following curative hepatectomy of hepatocellular carcinoma : phase I / $ \mathbb{I} $ study			
松井洋人	Adjuvant Immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA following curative hepatectomy of hepatocellular carcinoma : phase I / $ \mathbb{I} $ study			
筒井理仁	Expression of programmed death ligand 1 (PD-L1) and programmed death 1 (PD-1) in HER2-positive breast cancer patients.			
徳光幸生	Development of an individualizing predictive system for outcome of patient with hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy			
中尾光宏	Novel elongation technique of the small bowel using regenerative medicine.			
藤本拓也	①Analysis of microRNAs in patients with advanced HCC who have received immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA			
	②Analysis of human small intestinal submucosa(SIS)			
上野富雄	Clinical Application of Duct Penetrating Method			
徳久善弘	The role and mechanism of stat3 in tumor associated macrophage in tumor genesis and inflammatory micro environment			
武田 茂	Evaluation of the postoperative nutritional status in esophageal cancer patients			
山本 滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients			
吉野茂文	Clinical trial of gastric cancer			



### 前田祥成 平成11年卒

H27年に肝細胞癌に対するHSP70mRNA導入樹状細胞療法第 I 相試験およびその免疫解析で学位を取得させていただきました。直接ご指導いただいた吉村清先生、岡正朗前教授、免疫学教室玉田耕治教授に深謝申し上げます。免疫解析において旧式のフローサイトメーターと一緒に自分もフリーズしたこと、筆の進みが遅い私を教授自ら叱咤し、ちょっと激励しまた叱咤していただいたこと、すでに少し懐かしくなっております。

私のテーマは実験室で終わるものではなく、先進医療として臨床応用されている細胞療法の実施そのものでありました。わずかなミスが患者さんの命に関わる重圧の中、本研究を支えてくれた実験助手、輸血部、臨床検査部、看護部の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。また、折しも当科の手術症例が増加しているタイミングで私が研究に従事できたのは日々の手術を安全に遂行してくれた医局員のおかげであります。

現在は休止中の本療法ですが、消化器・腫瘍外科学の諸先輩方のご努力で成長し、その 時々の患者さんの希望となってまいりました。共に汗を流した吉田晋先生、新藤君、松井 君をはじめ本療法に関わったすべての方と患者さんに感謝申し上げます。



### 中尾光宏 平成12年卒

平成22年、大学院に入学し、消化管再生をテーマに研究をさせて頂きました。再生医療の研究を行ってきた教室員は数人しかおりませんでしたが、世の中はiPS細胞をはじめ非常に注目を集めている分野で、毎年参加していた再生医療学会が年々大きくなっていくのを実感しつつ、やりがい持って研究に励むことができました。研究内容はブタ小腸粘膜下組織を再生医療素材として、小腸壁の再生が実現可能かどうか評価し、さらにこの素材を用い小腸再生伸長術を施行して、将来的に短腸症候群患者における新規の外科的治療を考案するというものでした。イヌ、ブタといった大動物を用いた研究であったため、1人でコツコツと勤しむことができず、医局員や研究室の皆様、また病理学教室、生化学教室の方々にも御協力いただき、平成27年に学位を取得することができました。多大なる御指導、御鞭撻を頂いた岡先生、上野先生をはじめとして、御協力いただいた多くの方々に深く感謝いたします。

「Proposal of intestinal tissue engineering combined with Bianchi's procedure (小腸伸長術に小腸再生医療を応用した小腸再生伸長術) 」 Journal of Pediatric Surgery, ISSN 0022-3468, 11/2014



### 渡邉裕策 平成15年卒

私の研究は癌の再発転移に関与していると注目されている癌幹細胞(CSC)に関するものです。癌根治にはこのCSCを究明する必要がありますが、CSCは癌組織中にごく少数しか存在せず非常に不安定なため研究に難渋しました。そこで癌からCSCを誘導しかつ長期間安定的に培養する方法を確立するという研究を行いました。まず当教室で樹立したヒト膵癌細胞株(YPK)を神経刺激因子を含む幹細胞培地で培養し、spheroid細胞を作成しこのspheroid細胞を今度はlamininコートしたプレートに移し付着細胞として培養を続けることで、安定的に培養増殖することが出来るようになりました。これらの細胞が幹細胞様性質を獲得しているかを、flow cytometry、PCR、マウスを用い確認したところ、膵癌幹細胞マーカーであるCD24、CD44、ESAに加え、CD44-variant陽性細胞の割合が劇的に増え、また細胞の多くは休眠期にあり、間葉系関連遺伝子や幹細胞関連遺伝子を発現していました。マウスへの移植実験でも強い腫瘍形成能が確認されました。この方法によりCSCのさらなる研究、CSCを標的とした治療法の開発に寄与できるものと考えています。

本テーマを与えていただき実験から論文執筆にわたりご指導いただいた吉村先生、岡先生に深謝申し上げます。そして休みの日から夜遅くまで実験を手伝っていただいた井上さん、佐野さんをはじめ研究助手の皆様や医局員の先生方には本当に感謝しています。 本当にありがとうございました。



### 新藤芳太郎 平成16年卒

この度は、岡正朗前教授をはじめ、多くの先生方、実験助手さんのおかげで学位を取得することができましたことを、心より感謝申し上げます。特に、実験の指導から論文作成まで数々のご指導を頂きました吉村清先生には、この場をお借りして深くお礼申し上げます。

研究テーマはマウスの皮下腫瘍モデルに対する免疫チェックポイント阻害薬(抗PD-1 抗体)と補助刺激因子作動薬(抗4-1BB 抗体)の併用療法です。

これまで動物実験の経験がなく、怖くてマウスを触ることができなかったあの頃を今では懐かしく思います。当初は全くデータも出ず、筋道の通った計画書を作成できず、 方向性を見失っていた時期もありました。大学院の学年が上がるにつれて、気持ちは焦る一方でした。実験デザイン、実験計画書の重要性を痛感した大学院生活でした。

回り道をした大学院生活ではありましたが、しっかり悩んで、考えて、学位を取得することができたことは貴重な経験となりました。

今後は、大学院で得た知識や経験を臨床に活かしていきたいと思います。また後輩の 先生方の研究や臨床においても、微力ながら協力していきたいと思います。今後ともご 指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



### 橋本憲輝 平成16年卒

私は平成23年4月に山口大学大学院 医学系研究科 博士後期課程 応用分子生命科学系専攻に入学し、消化器腫瘍外科学 恒富 亮一 先生のご指導のもと、癌幹細胞に関する研究を行いました。そして、平成26年9月に研究論文「Cancer stem-like sphere cells induced from de-differentiated hepatocellular carcinoma-derived cell lines possess the resistance to anti-cancer drugs」を発表し、BMC Cancer.誌(Vol.27 No.14(1) P.722)へ掲載されました。これを基に学位論文を作成し、平成27年3月に無事、学位を取得することができました。

研究の概要としては、恒富先生の考案された、特殊培地を用いた新規浮遊細胞(Sphere 細胞)誘導培養法により、ヒト肝細胞癌細胞株から癌幹細胞の特性を有する癌幹細胞様細胞が効率よく誘導可能となり、とりわけそれらが化学療法抵抗性を示すことを確認しました。また、薬剤排出能や細胞周期、活性酸素種の関与がその機序として考えられました。

唯一の心残りとしては、Sphere細胞が著明な肝転移能を有することを、マウスへの移入 実験により証明しつつはありましたが、データとして公表するに至らなかったことです。 これに関しては、西山 光郎 先生をはじめとした後輩の先生方が、近日にも発表して頂け ると信じておりますし、今後も微力ながらご協力させて頂きたく思っております。

そして、本実験系のさらなる解析、発展から、HCC CSCマーカーが同定され、それらを 標的とした転移・再発の抑制方法の開発がなされることを祈念しております。

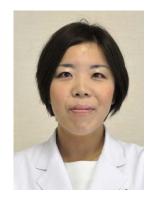
最後になりましたが、論文作成にあたり、ご指導ならびにご助言を頂きました、現山口 大学学長 岡 正朗 先生に深く感謝致します。そして、本研究を遂行するにあたり、並々な らぬご指導を頂きました恒富 亮一 先生には深く深く感謝致します。本当にありがとうご ざいました。今後ともご指導ならびにご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 徳光幸生 平成16年卒

私の研究テーマは、「臨床病理学的因子のみを用いて肝細胞癌の予後予測システムを構築する」というものでありました。当科で過去に行われた肝細胞癌の根治手術症例の臨床病理学的データを用いて、「肝細胞癌の予後予測に有用な因子は何か」という、臨床医としては非常に興味深い、しかしながら実際にはかなりやり尽くされて「本当に何か新しい知見が得られるのか?」という非常にチャレンジングなもので、当科の大学院生の研究テーマとしてはかなり異色であったものと思われます。困難なテーマではありましたが、統計解析において山口大学工学部の浜本義彦先生の多大なる御協力を得まして、「肝細胞癌の最大腫瘍径×腫瘍個数の積」のカットオフ値を「4」と「9」に設定することで、重要な予後予測因子と成り得ることを発見し、さらにこれと肝癌取扱い規約の「肝障害度」を統合した新たなスコアリングシステムを構築して、当科のデータに於いて既知のスコアリングシステムより優れたモデルであることを示すことが出来ました。データの統計解析に多大なる御尽力を頂きました工学部の浜本義彦先生、論文作成を直接ご指導頂きました飯塚徳男先生、岡正朗前教授に深謝申し上げます。

さらに、本研究は永野浩昭教授のお力添えで、大阪大学ならびに大阪府立成人病センターの症例データをご提供頂きまして、スコアリングシステムの妥当性の検証と新規スコア式作成という次のステップへと進んでおります。今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



### 井上由佳 平成17年卒

このたび平成27年に学位を取得致しました平成17年度卒の井上由佳です。大学院では進行大腸癌に対する抗EGFR抗体薬の予後予測因子の探索を研究テーマとして研究を行いました。臨床において大腸癌を専門にさせていただいていることから、日常診療で実際に使用することの多い、抗EGFR抗体薬のメカニズムの一つと言われているADCC活性についての基礎実験ができたことは非常に感慨深かったです。また、抗EGFR抗体薬の予後予測因子の探求も、未来の大腸癌患者の治療に役立てる可能性のある検討であり、非常に興味を持って研究を進めることができました。今回の大学院での経験、物事の考え方を今後の日常診療に存分に活かしていきたいと思っています。

ご指導いただきました岡正朗前教授をはじめ、実験に関わっていただいた多くの方々に心より感謝しております。特に、テーマを与えて下さり、実験から論文作成まで直接ご指導を賜りました硲先生にはこの場をお借りして深謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 新入局者あいさつ



### 木村祐太 平成22年卒

平成27年度入局の木村祐太と申します。高校卒業までを山口市で過ごし、平成22年に 鹿児島大学医学部を卒業後、東京都立墨東病院で初期研修、外科後期研修を行ってまい りました。研修中より、故郷の山口県で外科医として働きたいという思いが強くなり、 このたび、山口大学消化器・腫瘍外科に入局させていただきました。出身大学も研修病 院も県外ということで、当初は様々な不安がありましたが、永野教授をはじめとした医 局員の皆さまに温かく迎え入れていただき、非常に充実した日々をおくっております。 今まで自分を育ててくれた故郷に少しでも恩返しができるよう、外科医としてさらなる 研鑽を積んでいきたいと思いますので、皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申 し上げます。



### 千々松日香里 平成24年卒

平成27年度入局の千々松日香里と申します。宇部興産中央病院にて2年間の臨床初期研修を終え、山口大学第2外科にて一年間の修練の後、現在、下関医療センターで勤務させていただいております。幼少時より外科医になりたいと思っており、ようやくスタートを切ることができました。出身は宮崎県ですが、山口県で一生外科医として頑張りたいと考えております。外科医の道程は長く、なかなか上達せず、指導していただく先生方に申し訳なく思うこともしばしばですが、それでも根気よく指導していただき、第2外科の先生方には大変感謝しております。多くの患者様を笑顔にできるよう、また、少しでも先生方の役に立てるよう、日々精進して参りますので、これからも御指導御鞭撻の程よろしくお願いいたします。



### 太田啓介 平成25年卒

平成27年に消化器腫瘍外科に入局させていただきました太田啓介と申します。平成25年に山口大学医学部を卒業し、宇部興産中央病院・山口大学医学部付属病院で2年間臨床研修を終えた後、国立病院機構関門医療センターで外科医としての第一歩を踏み出しました。素晴らしい指導医の先生方に囲まれながら、数多くの手術症例を当てていただき日々修練に励んでおります。まだまだ知識・技術共に未熟な面は多くありますが、多くの患者さんを救うべく精進して参ります。今後とも御指導の程宜しくお願い申し上げます。

## 新入局者あいさつ



### 古谷 圭 平成25年卒

この度、青山会に入会させていただきました古谷圭と申します。

出身は岐阜県で山口大学を平成25年3月に卒業しました。学生時代はラグビー部に所属し、 屈強な漢たちにもまれてきたので体力と根性だけは自信があります。

現在、愛媛県の市立八幡浜総合病院で勤務しておりますが、消化器内科医が不在な分、内視鏡を用いた診断・治療についても、勉強させていただいております。

できるだけ多くのことを吸収していきたいと思っております。

諸先生方にはご迷惑をおかけすることも多々あるとは存じますが、微力ながらも患者さん の役に立てるよう精進してまいりますので今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



### 徳久晃弘 平成25年卒

皆様始めまして、徳久晃弘と申します。私は平成25年に長崎大学医学部を卒業しました。 卒後は徳山中央病院で初期臨床研修を終え、平成27年4月に山口大学消化器腫瘍外科に入 局させて頂きました。学生時代はサッカー部に所属しておりました。入局とほぼ同時にゴ ルフもはじめ、公私ともに先輩方には大変お世話になっております。今後皆様にご迷惑を おかけすることもあるかと思いますが、一人前の外科医に一日でも早くなれるよう日々精 進して行きますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



### 兼定 航 平成25年卒

このたび山口大学消化器腫瘍外科に入局させていただきました兼定航です。

生まれも育ちも山口県で、出身大学も山口大学です。大学時代は部活の硬式テ二スに没頭することができ、楽しい時間を過ごすことができました。医学部に入学した頃から漠然と将来は外科医になりたいなと考えておりましたが、5年生のポリクリで消化器外科に興味を持ったこと、また先生方のチームワークが良いことから教室全体の雰囲気が明るくここでなら今後充実した仕事を続けられると考え当科への入局の思いが強くなりました。

大学卒業後は、徳山中央病院、山口大学附属病院での初期研修を経て、入局初年度の昨年は岩国市医療センター医師会病院へ赴任となりました。岩国市医療センター医師会病院では外科医としての第一歩を踏み出すことになりましたが、基本的なことから丁寧に教えていただきとても有意義な時間を過ごすことができました。

これからも常に向上心を持って、患者様に外科医としてより良い医療を提供できるように 頑張りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 2015年 年間行事



松下村塾(萩市) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」 吉田松陰が主宰した私塾で、多くの維新志士を輩出しました。

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	研究者発表会議	第82回大腸癌研究会	THE RESERVE
2	第32回宇部駅伝競走大会	第43回中国四国甲状腺外科研究会	山口県外科・救急真菌症カンファレンス 2015 第19回山口県肛門疾患懇談会
3	永野浩昭教授就任 消化器・腫瘍外科 病棟歓送迎 会	第87回日本胃癌学会総会 第51回日本腹部救急医学会総会 第14回日本再生医療学会総会 第48回制癌剤適応研究会	第58回免疫懇話会 第7回山口県消化管セミナー 第2回山口外来化学療法研究会
4	1病棟6階 花見 さが桜マラソン2015	第115回日本外科学会定期学術集会	
5	研究者発表会議 青山会(同門会) 腹腔鏡下ヘルニア根治術セミ ナー	APPLE 2015 第36回癌免疫外科研究会 第51回日本肝臓学会総会 第33回日本肝移植研究会 日本麻酔科学会第62回学術集会	
6	キャリアナビゲーション	ASCO 2015 第12回日本肝がん分子標的治療研究会 第27回日本肝胆膵外科学会 学第40回日本外科系連合学会学術集会術集会 第24回日本癌病態治療研究会	
7		第23回日本乳癌学会学術総会 第69回日本食道学会学術集会 第83回大腸癌研究会 第19回日本がん免疫学会総会 第37回日本癌局所療法研究会 第18回日本高齢消化器病学会総会 第70回日本消化器外科学会総会 第51回日本肝癌研究会	第11回山口県外科感染症研究会 第5回遺伝子多型研究会 第5回肝胆膵フォーラム In Yamaguchi 山口県胃癌セミナー 第58回キャンサーボード コミュニケーションスキル
8		第57回日本平滑筋学会総会 第42回日本膵切研究会	
9	2015三原・白竜湖トレイルラ ンレース	第51回日本胆道学会学術集会	第8回山口県消化管セミナー 第137回山口県医師会生涯研修セミナー 第3回Cancer Forum in Yamaguchi Hepatology Meeting In Yamaguchi
10	医局対抗野球大会 肝移植見学(大阪大学) 上野先生慰労会	第51回日本移植学会総会 第74回日本癌学会学術集会 JDDW2015 第23回日本消化器関連学会週間 第53回日本癌治療学会学術集会	第21回Cancer Forum in Yamaguchi 第5回がん市民公開講座 第59回キャンサーボード
11	第8回下関海響マラソン	第70回日本大腸肛門病学会学術集会 第26回日本消化器癌発生学会総会 第9回肝臓内視鏡外科研究会 第77回日本臨床外科学会総会	山口県医師会生涯研修セミナー 第40回山口県胆膵研究会 第6回宇部小野田圏域緩和ケア事例検討会 ヘルニアを極める会 山口県周術期セミナー 第15回山口消化器病態研究会
12	大忘年会 維新の会 肝移植見学(大阪大学) 第16回 萩城下町マラソン	第28回日本外科感染症学会総会 第28回日本バイオセラピィ学会学術集会総会 第28回日本内視鏡外科学会総会 第7回膵臓内視鏡外科研究会	第5回Breast Cancer Conference ALL山口胃癌学術講演会

## 2月 さが桜マラソン



シーズン締めくくりとなるさが桜マラソン。 今年も桜を見ながら全員完走しました!!

## 2月 宇部駅伝大会





必死のタスキリレー! 手術同様チームワークを磨きます!!

## 3月 消化器腫瘍外科、病棟歓送迎会



受付嬢



永野教授が挨拶されました



山本滋先生と、豊浦病院へ異動された前田和成先生



留学から戻られた筒井先生



病棟ナースからの熱い(?)メッセージ



新入局された3人の先生方もこの春で 関連病院へ異動となりました



異動。退職される病棟スタッフ、 事務職の方々



永野教授と近沢師長

## 5月 青山会



永野教授が「山口大学消化器・腫瘍外科ー明日 にむけてー」のタイトルで講演されました。



岩国市医療センター医師会病院 病院長 内山哲史先生



青山会賞を受賞された渡邉裕策先生



新入局員の先生方



懇親会の風景 岡学長挨拶

## 5月 青山会ゴルフ大会



今年も沢山の先生方にご参加いただき 大変有難うございました。 天気に恵まれ素晴らしい会となりました。



永野教授と年光先生によるオープニングショット。 ナイスショットです!





優勝は永沢先生。おめでとうございます!

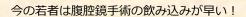


兼清先生の本日イチナイスショット!

## 5月 腹腔鏡下ヘルニア根治術セミナー



次世代の外科を担ってゆく若者たちに丁寧に 教えます。







そけい部の解剖に関する徳光先生による レクチャー



### 5月 日本麻酔科学会 共催セミナー

日本麻酔科学会第62回学術集会 共催セミナー L02

2015年5月28日 神戸ポートピアホテル

## 手術麻酔最前線

- 外科医の視点、麻酔科医の視点-

### 患者さんにも麻酔科医にも術者にもストレスのない手術環境を目指して



演者 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 吉野 茂文 先生

腹腔鏡手術では、良好な視野の確保に加えて、スムーズな手術手技のために、深い筋弛緩 状態が必要です!!

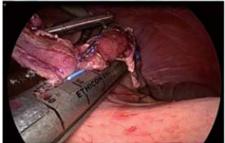
### 図1 腹腔鏡下胃部分切除術における筋弛緩不十分例

### a 筋弛緩が不十分な状態



腹壁が下がり、組織圧排子(リトラクター)による肝臓の拳上が困難。 この直後、臓器がカメラに触れたため退避を余儀なくされた。

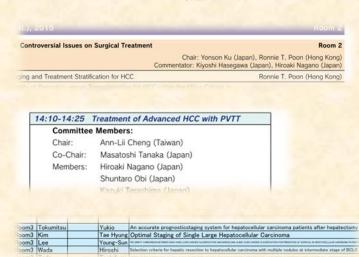
### b 筋弛緩薬追加投与後



腹壁と臓器の間隔が十分に開いた ため、電動縫合器(ステイプラー) の操作も容易になり、スムーズに 縫合できた。

# 5月 The 6th Asia—Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (APPLE 2015) in Osaka

ハイアットリージェンシー大阪で開催された国際学会 APPLE 2015に参加しました。





### 6月

# American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2015



ASCO2015で「膵がんペプチド療法:大阪市大 田中浩明先生」と「大腸がんペプチド療法:小郡第一病院 小佐々博明先生」が発表、硲准教授と鈴木助教が同行しました。 共同研究者のシカゴ大学中村祐輔先生のグループと会食

## 6月 キャリアナビゲーション



キャリアナビゲーション、縫合トレーニングの様子



専用のコンピューターが、縫合の善し悪しを判定してくれます。

### 7月 第70回 日本消化器外科学会

第70回日本消化器外科学会学術総会ランチョンセミナー LS-16 2015年7月16日 オークラアクトシティホテル浜松



山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 **吉野 茂文** 先生

ランチョンセミナーでの吉野先生の講演





消化器外科学会に参加後に、皆で富士山に登頂しました。



山頂を制覇!!

## 8月 呉・鏡視下縫合結紮セミナー



四谷メディカルキューブの笠間和典先生と 関洋介先生、日本を代表するBariataric surgeonの大物お二人にご指導していただ き恐縮です!





夜も昼もじっくり勉強させていただきました!!





## 8·10月 肝移植見学 (大阪大学)

肝胆膵班が大阪大学の生体肝移植を見学に行きました。 山口大学での肝移植再開に向けて、準備を進めていきます。







生体肝移植 バックテーブルの様子

## 9月 2015三原・白竜湖トレイルランレース





断崖絶壁の中を走る!





37km、キツかったけど最高にリフレッシュできました。 明日からまた頑張れそうです!

## 10月 上野先生慰労会



5年半という長期間、病棟医長をされた上野先生の慰労会です。上野先生、お疲れ様でした!

## 10月 医局対抗野球大会



集合写真



バッターボックスに立つ橋本憲輝先生

今年は残念ながら1回戦敗退でした…

## 11月 第15回山口消化器病態研究会

慶応大学 北川雄光先生に「食道癌 集学的治療の最新知見」を御講演頂きました。



慶応大学 北川雄光教授と

## 11月 第8回下関海響マラソン



今年も全員完走しました! チームワークを深めまた業務を頑張ります!!

## 12月 消化器・腫瘍外科 維新の会



山陰の古都、老舗旅館に若手外科医が集合!





医局の若手医師が自身の腹腔鏡手術の手術ビデオを持ち寄り、 熱く(?)ディスカッションします。



## 12月 消化器・腫瘍外科 大忘年会



永野教授と医局秘書:東さん



硲彰一先生による乾杯のあいさつ



病棟Nsによる余興



出来る幹事、藤本先生



集合写真

### 編集後記

2015年3月、伝統ある山口大学大学院消化器・腫瘍外科学講座に新しい風が吹いた。永野浩昭教授の着任である。我々がそれまで当たり前と思っていたことの、どこが当たり前でどこが当たり前でないのか、そのことを見つめなおす大きな転換点となった。今回の年報作製もその一環として行われた。それまで、日常診療に忙殺される日々で自施設の症例数がどのくらいで術式別ではどうか、合併症の頻度はどうか、山口県ではどの位置か、日本ではどの位置か、という大局に立った見方が乏しかったように思う。そういう大局的な考え方が重要なことと認識して、日々の診療にフィードバックしていくことこそ、岡正朗前教授がいつも仰っていた「王道を行け、世界に問え」という信念に通じるものと信じている。最後になりましたが、急なお願いにも関わらず、快く原稿依頼を受けて頂いた先生方と、編集委員のすばらしい編集力に感謝してあとがきの挨拶とさせて頂きます。

平成28年4月

鈴木 伸明



萩城跡と指月山(萩市) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」

### 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教室年報:2015

平成28年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

編集責任者 鈴木伸明

編集委員 徳光幸生 藤本拓也 中島正夫

TEL: 0836-22-2264 FAX: 0836-22-2263

ホームページ: http://www.yamadai-gesurgery.jp/